NEC

NE-202

取扱説明書　’13.3

MEDIAS

はじめに

「NE-202」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書の記載について

- 本書では操作手順を以下のように簡略して記載しています。

表記	意味
ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「通話設定」	ホーム画面で ☰ をタップする▶「システム設定」をタップする▶「通話設定」をタップする

- 本書の本文中においては、『NE-202』を『本端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

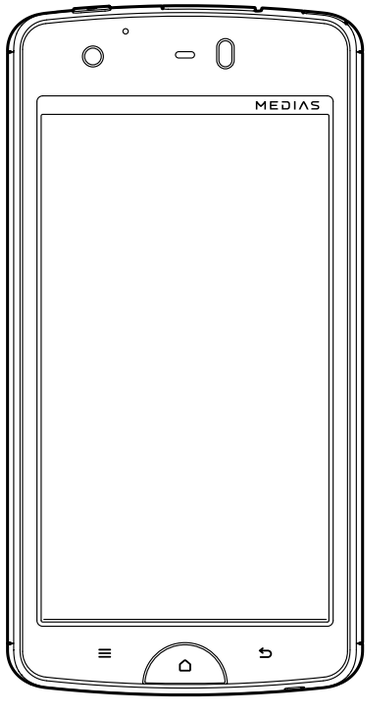
本端末で操作方法を確認する

NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページより、取扱説明書（PDFファイル）をダウンロードしてご覧になれます。
http://www.n-keitai.com/guide/download/manual/ne202/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

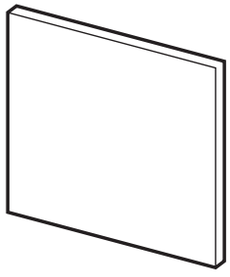
本体付属品

NE-202
（リアカバー含む）

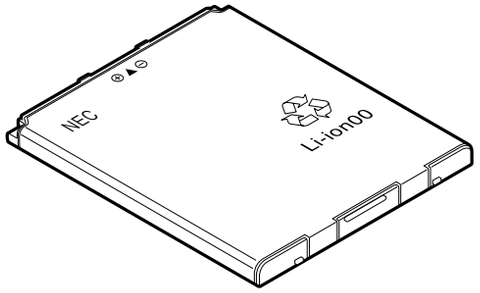


保証書
（NE-202本体／ACアダプタ NE-202J0C）

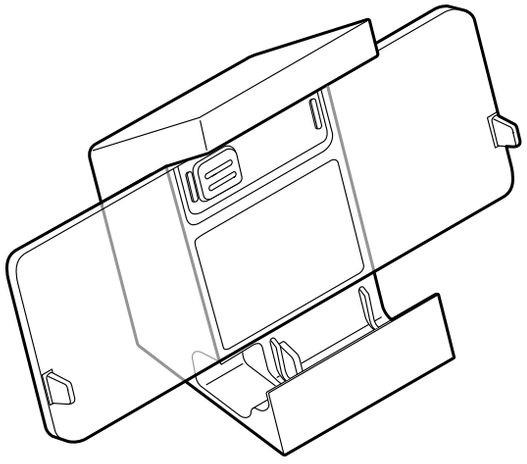
NE-202セットアップガイド



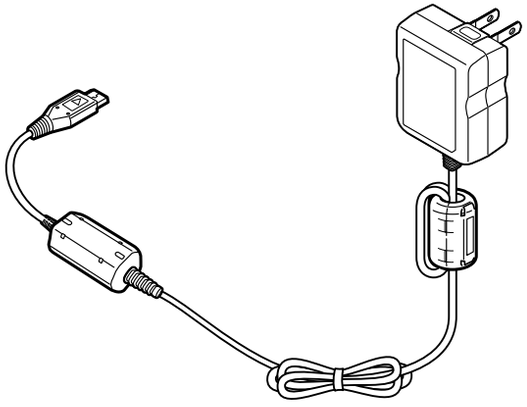
電池パック NE-202J0B



卓上ホルダ NE-202J0J



ACアダプタ NE-202J0C



目次

本体付属品 …… 1
本端末のご利用について …… 4
安全上のご注意（必ずお守りください） …… 6
取り扱い上のご注意 …… 16
防水／防塵性能 …… 21

ご使用前の確認と設定 P.27
各部の名称と機能 …… 27
UIMカード …… 29
microSDカード …… 30
電池パック …… 32
充電 …… 33
電源を入れる／切る …… 36
基本操作 …… 37
初期設定 …… 40
ステータスバーを利用する …… 44
文字入力 …… 47
ホーム画面 …… 54
ホーム画面を管理する …… 54
アプリケーション一覧画面 …… 56
検索機能を使う …… 60
アプリケーション履歴 …… 61

電話 P.62
電話をかける／受ける …… 62
通話履歴 …… 64
通話設定／その他 …… 65
電話帳 …… 66

メール／ウェブブラウザ P.69
SMS …… 69
Eメール …… 70
Gmail™ …… 72
Google トーク™ …… 75
ウェブブラウザ …… 76

システム設定 P.79
Wi-Fi設定 …… 79
Bluetooth通信 …… 80
データ使用 …… 82
その他 …… 84
音 …… 87
ディスプレイ …… 88
ecoモード …… 89
ストレージ …… 91
電池 …… 91
アプリ …… 92
アカウントと同期 …… 92
位置情報サービス …… 93
セキュリティ …… 93
言語と入力 …… 97
バックアップとリセット …… 98
日付と時刻 …… 98
ユーザー補助 …… 99
開発者向けオプション …… 99
端末情報 …… 99

ファイル管理 P.100
赤外線通信 …… 100
Bluetooth通信 …… 102
パソコン接続 …… 102

アプリケーション

P.104

Play ストア（Google Play™）.....104
ワンセグ.....106
カメラ.....110
ギャラリー.....113
GPS.....114
時計.....118
カレンダー.....118
電卓.....119

海外利用

P.120

海外でご利用になる前の確認.....120
海外で利用するためのネットワークの設定.....120
滞在先で電話をかける／受ける.....121

付録／索引

P.123

トラブルシューティング（FAQ）.....123
保証とアフターサービス.....129
メジャーアップデート.....131
主な仕様.....133
携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて.....136
輸出管理規制について.....139
知的財産権について.....139
索引.....143

本端末のご利用について

- NE-202はLTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や交換、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、データ通信を無効に設定した場合でもパケット通信料がかかる可能性があります。
- Android™ 向けアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、ワンセグの視聴、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で[≡]▶「システム設定」▶「端末情報」▶「端末の状態」
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.131
- 本端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後は、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや本端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動

作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。

- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.93
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogle サービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- WiFiテザリングのお買い上げ時の「セキュリティ」の設定では、「セキュリティ」には「WPA/WPA2 PSK」が、パスワードにはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なる場合があります。ご利用時の料金など詳細については、販売元へご確認ください。

安全上のご注意
（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、ACアダプタ、卓上ホルダ、UIMカードの取り扱いについて（共通）···· P.7
2. 本端末の取り扱いについて····· P.8
3. 電池パックの取り扱いについて ····· P.10
4. ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて ····· P.11
5. UIMカードの取り扱いについて ····· P.12
6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて P.13
7. 材質一覧····· P.14

1.本端末、電池パック、ACアダプタ、卓上ホルダ、UIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。防水性能については下記をご参照ください。→P.21「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用する電池パックおよびACアダプタは、本端末の付属品を使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をACアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・ACアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のUIMカード挿入口やmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーを「ON」にして通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.14「7.材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから販売元など窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.ACアダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止

ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを無理に引っ張らず、ACアダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5.UIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

UIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂	すず蒸着、UVコーティング
	電池面		UVコーティング
サイドパーツ		アルミ	UVコーティング
ボトムサイドパーツ		ナイロン樹脂	UVコーティング
ディスプレイパネル		強化ガラス	フッ素コーティング
ライトおよび赤外線ポートパネル		アクリル、PC複合樹脂	ハードコート
カメラスクリーン		アクリル、PC複合樹脂	ハードコート
カメラリング部		PC樹脂	すず蒸着、UVコーティング
リアカバー	表面	PC樹脂	UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム	シリコーンコーティング
キー	電源キー	PC樹脂	すず蒸着、UVコーティング
	ボリュームキー	PC樹脂	UVコーティング
	ホームキー	アクリル、PC複合樹脂	ハードコート
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー	ディスプレイ面：すず蒸着、UVコーティング 電池面：UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム	シリコーンコーティング
ワンセグアンテナ	上段及び中段	ステンレス合金	−
	下段	ニッケルチタン合金	−
	根元ヒンジ部	ステンレス合金	ニッケルメッキ
	アンテナ固定部	亜鉛	ニッケルメッキ
	先端キャップ	ABS樹脂	UVコーティング
	ネジ	ステンレス合金	酸化着色
充電端子		黄銅	金メッキ

使用箇所		材質	表面処理
電池パック収納部	収納面	側面：ナイロン樹脂 底面：ステンレス合金	側面：－ 底面：ニッケルメッキ
	収納面下部	ポリイミド樹脂、ウレタン樹脂	－
	UIMカードトレー	ハウジング部：LCP樹脂 金属部：ステンレス合金	ハウジング部：－ 金属部：－
	ネジ	ステンレス合金	－
電池端子	電池端子コネクタ本体	ナイロン樹脂	－
	端子部	りん青銅	金メッキ
電池パック NE-202J0B	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂	－
	端子部	ガラスエポキシ樹脂	金メッキ
卓上ホルダ NE-202J0J	外装ケース	ABS樹脂、PC樹脂	－
	充電端子レバー	POM樹脂	－
	フック	POM樹脂	－
	ゴム足	ウレタン樹脂	－
	充電端子	りん青銅	金メッキ
	ネジ	鉄鋼材	黒ニッケルメッキ
ACアダプタ NE-202J0C	外装ケース	PC、MBS複合樹脂	－
	ACプラグ	樹脂ボディ部：PBT樹脂 プラグ根元部カバー：ナイロン樹脂 プラグ金属部：銅合金	樹脂ボディ部：－ プラグ根元部カバー：－ プラグ金属部：ニッケルメッキ
	microUSBコネクタ	樹脂部：スチレン系熱可塑性エラストマー 金属部：ステンレス合金	－
	コード外皮	スチレン系熱可塑性エラストマー	－
	フェライトコア（ACプラグ側）	ケース：ナイロン樹脂 固定テープ：PET樹脂	－
	フェライトコア（microUSBコネクタ側）	モールド外皮：スチレン系熱可塑性エラストマー	－

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **NE-202は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  電池パック、ACアダプタ、卓上ホルダ、UIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり有料交換となりますので、あらかじめご了承ください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

●**お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●**本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
●**バイブレータの振動で本端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。**
●**外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
●**使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
●**カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
●**通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
●**リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
●**受話口やスピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
本端末の故障、破損の原因となります。
●**microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
●**磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
●**本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

●**電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの個別販売はしておりませんので、販売元にお問合せください。
●**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
●**電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
●**電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
●**電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

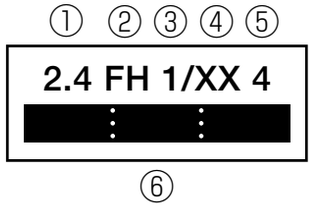
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

ACアダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **周波数帯について**
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



①	2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②	FH	：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③	1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④	XX	：変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤	4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

⑥ ■■■ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

Bluetooth® 搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

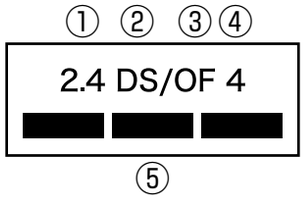
1. **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、販売元にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。**
3. **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売元へお問い合わせください。**

Wi-Fiについてのお願い

- **Wi-Fiは、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **Wi-Fiについて**

  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数のWi-Fiアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**

  Wi-Fi搭載機器が使用する周波数帯は、本端末の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



①	2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②	DS	：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③	OF	：変調方式がOFDM方式であることを示します。

④　4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

⑤　▬▬▬　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- Wi-Fiを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所、周波数などが制限されている場合があります。その国の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

Wi-Fi搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、販売元にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。**
3. **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売元へお問い合わせください。**

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の銘版シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし無料交換をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

NE-202は、外部接続端子キャップを閉じ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能と、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水の水深1.5mのところにNE-202を沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

NE-202が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
  - リアカバーをしっかり取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま洗ってください。
  - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - 送話口や受話口、スピーカーに蛇口の水を直接当てないでください。
- 塩水や海水がかかったり、泥や土などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。

ご利用にあたって

- ご使用前に、外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵の侵入の原因となります。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

＜例＞

せっけん／洗剤／入浴剤

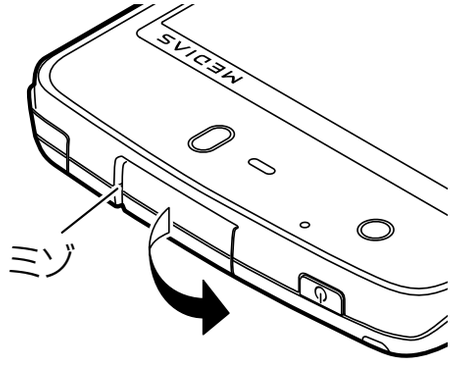
海水

温泉

■ 外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた

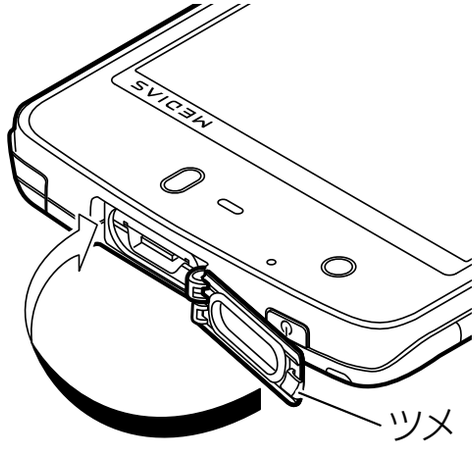
■開けかた

ミゾに指などをかけて矢印の方向に開けてください。



■閉じかた

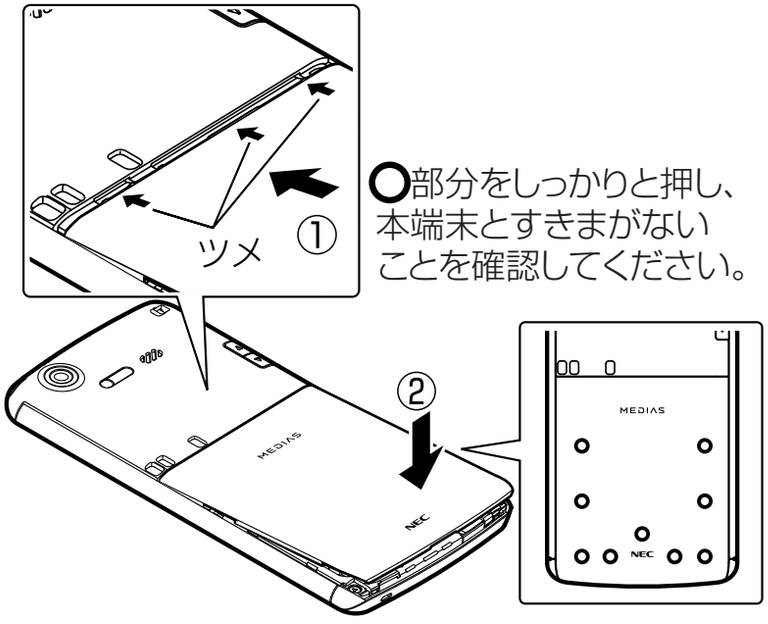
しっかりとキャップ全体を押し込んで取り付けます。



■ リアカバーの取り付けかた／取り外しかた

■取り付けかた

1 リアカバーのツメを①の方向に差し込み、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

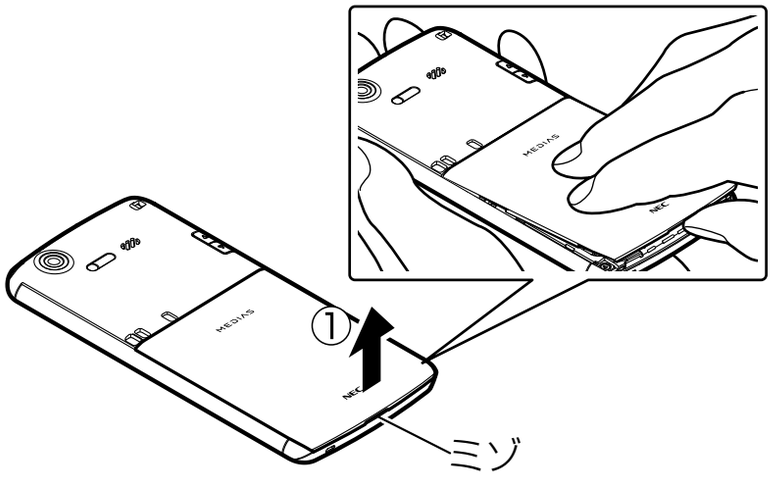


○部分をしっかりと押し、本端末とすきまがないことを確認してください。

■取り外しかた

1 本端末を手に持ち、ミゾに指などをかけて、①の方向にリアカバーを持ち上げる

2 イラストのように、開いた隙間に指をいれ、無理な力を加えないよう取り外す



おしらせ

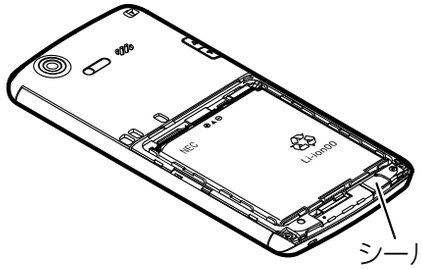
- リアカバーを取り外すときは、水抜きを行い、本端末の水分をよく拭き取ってください。
- リアカバーを取り付けるときは、リアカバー周辺（特にゴムパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- リアカバーを確実に取り付けないと、水や粉塵の侵入の恐れがあります。
- リアカバーを取り付ける際は、UIMカードやmicroSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。UIMカードやmicroSDカードの挿入が不十分だと、電池パックがUIMカードやmicroSDカードにのり上げ、リアカバーを取り付けた際に、本端末とリアカバーの間にすきまが生じて防水／防塵性能を損なう場合があります。

防水／防塵機能は２年程度を目安としてください。

重要事項

- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態で販売元へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 外部接続端子キャップやリアカバーのすきまに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵の侵入の原因となることがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 規定（P.21）以上の強い水流（たとえば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。NE-202はIPX5の防水性能を有しておりますが、内部に水が入り、故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。

●送話口や受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
●本端末は水に浮きません。
●落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
●送話口や受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。水滴が付着していると通話音量や着信音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。このような場合は、水抜きを行うことで元に戻ります。
●実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。
●リアカバーをしっかりと取り付けていても、以下の箇所のシールをはがすと、防水性能を損なう恐れがありますので、シールをはがさないでください。

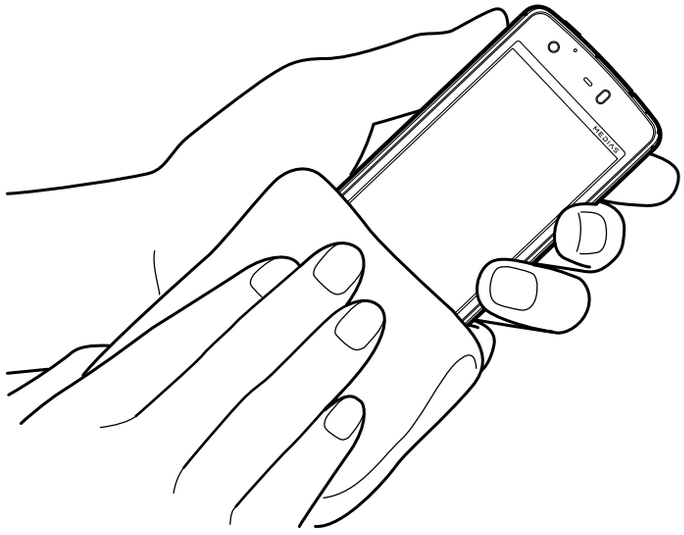


水に濡れたときの水抜きについて

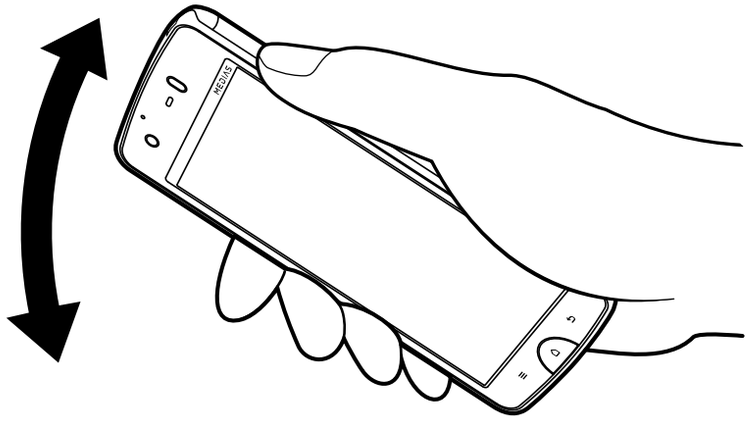
本端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

●送話口や受話口、スピーカーに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

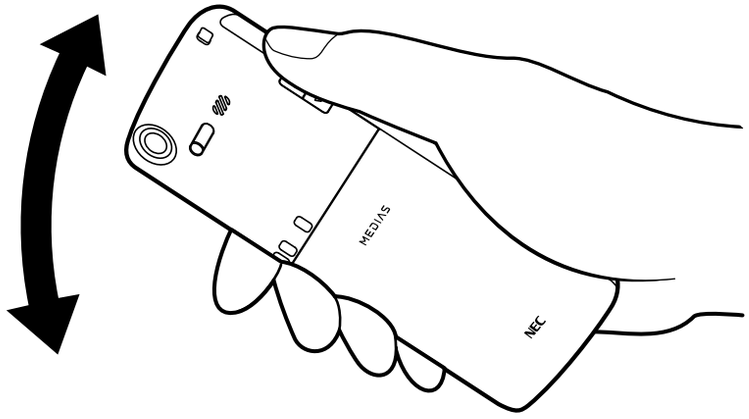
1 本端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

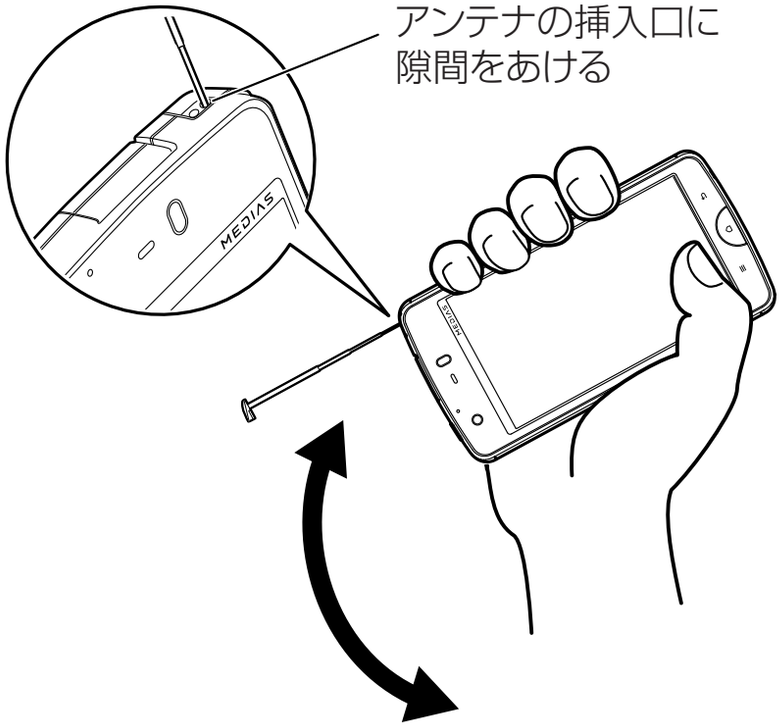


<送話口、受話口の水抜き>



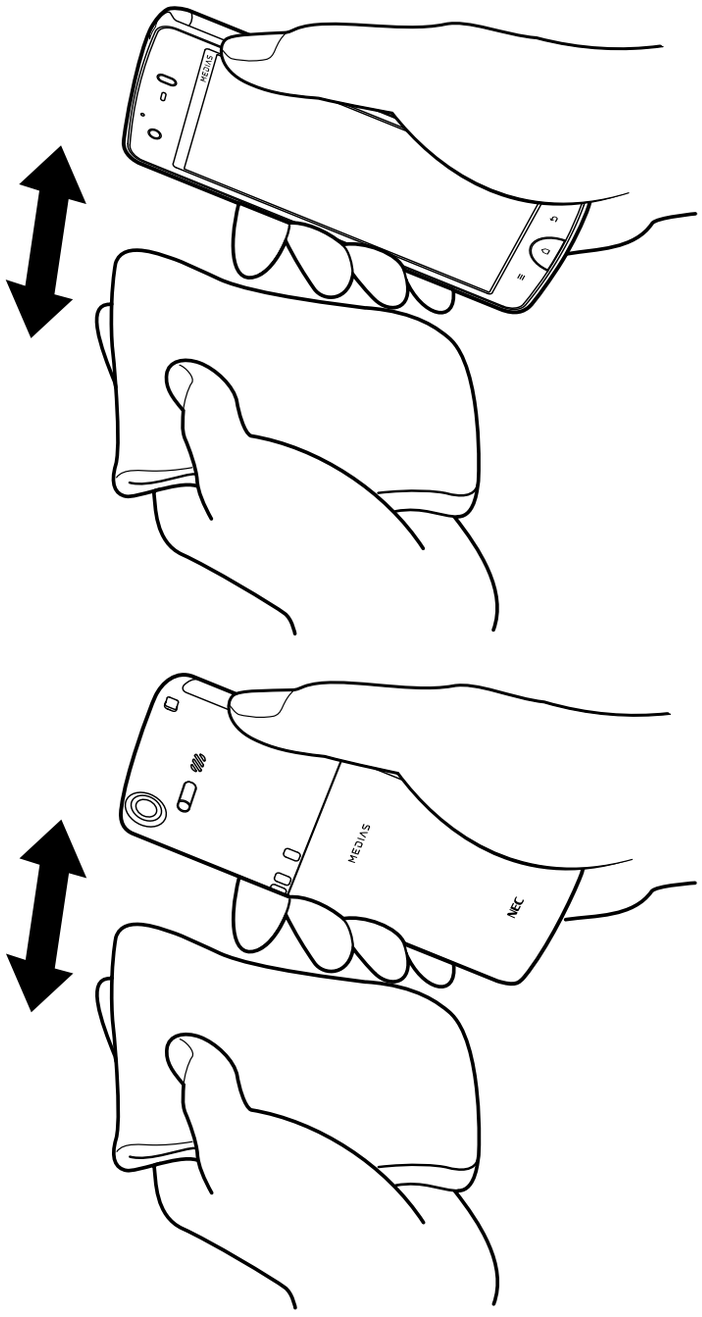
<スピーカーの水抜き>

- ワンセグアンテナに水が入った場合は、以下のイラストのように、アンテナを途中まで伸ばした状態で、本端末を振ってください。



3 送話口や受話口、スピーカーのすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を軽く押し当てて拭き取る

- すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。



4 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

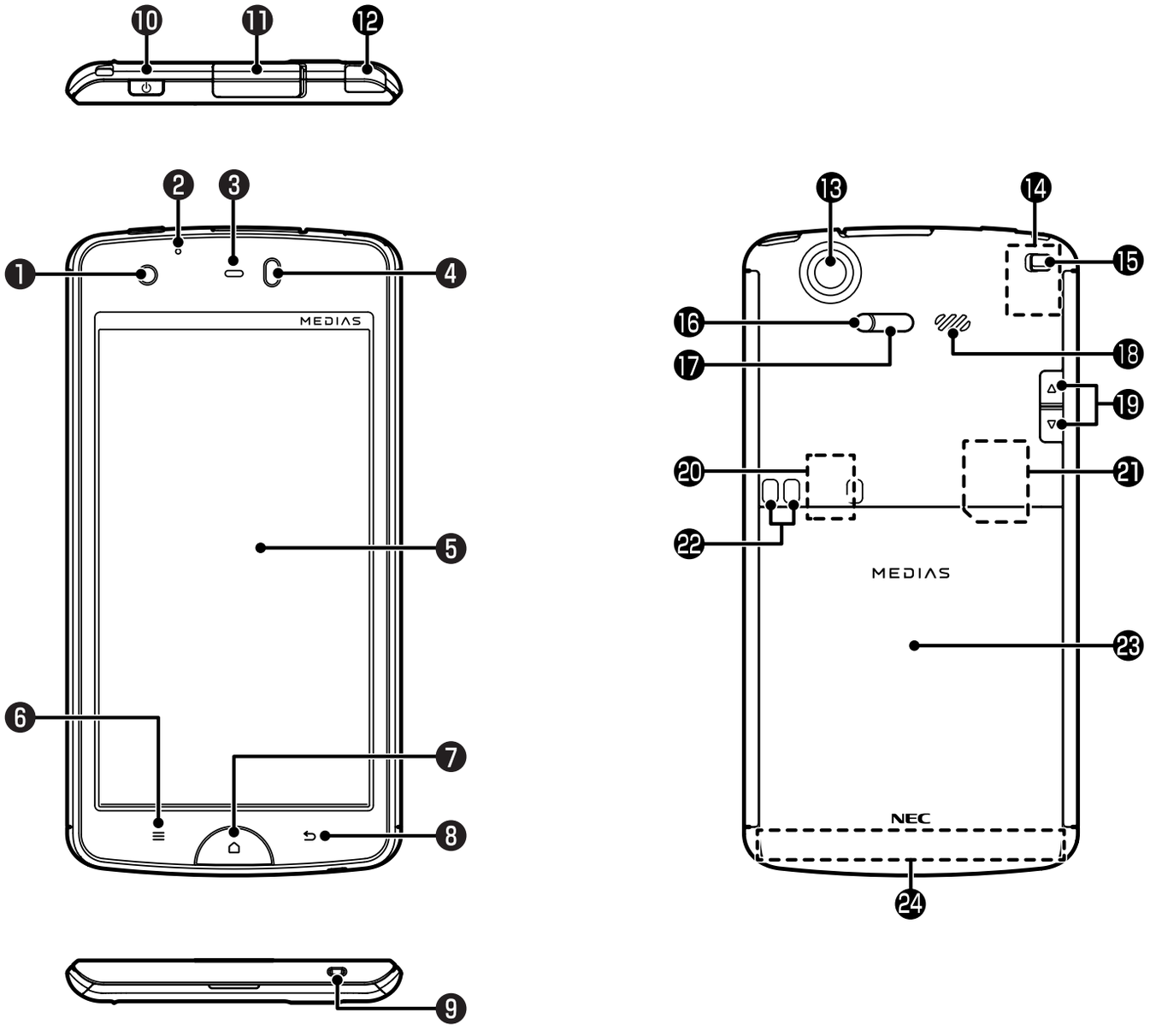
- 水を拭き取った後に本端末内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

付属品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れていないか確認してください。
  水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
  - 本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
  - 濡れた手で ACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
  - ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

各部の名称と機能



❶ **内側カメラ**
- 動画や静止画撮影のときに使用します。→P.110

❷ **お知らせLED**
- 充電中→P.36
- 着信時（着信ランプ）→P.88
- 不在着信、新着メール（お知らせランプ）→P.89

❸ **受話口（レシーバー）**

❹ **近接／照度センサー**
- タッチパネルの誤作動を防ぐため、通話中に顔が近づいたのを検知すると、タップが有効なアイコンを消去します。
- 周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動で調整することができます。→P.88

※ センサー部分にシールなどを貼らないでください。

❺ **ディスプレイ（タッチパネル）**
- ディスプレイに表示された画面をなぞってスクロールしたり、選択したりできます。→P.37

❻ **メニューキー→P.38**

❼ **ホームキー→P.38**

❽ **バックキー→P.38**

❾ **送話口／マイク**

❿ **電源キー**
- 電源のON／OFFやスリープモードにします。

⓫ **外部接続端子**
- 充電時やイヤホン接続時、パソコン接続時などに使用する統合端子です。

⓬ **ワンセグアンテナ**
- ワンセグを受信します。→P.106

⓭ **外側カメラ**
- 動画や静止画撮影のときに使用します。→P.110

⓮ **GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※**

⓯ **ストラップ取付穴**

⓰ **ライト／撮影認識LED**
- カメラ撮影のときに、点灯させることができます。
- カメラ起動中は赤色で点滅します。

⓱ **赤外線ポート**
- 赤外線通信に使用します。→P.100

⓲ **スピーカー**

⓳ **▲／▼ ボリュームキー**
- 音量を調整します。

⓴ **microSDカード挿入口**
- microSDカードを挿入します。→P.30

㉑ **UIMカード挿入口**
- UIMカードを挿入します。→P.29

㉒ **充電端子**

㉓ **リアカバー**

㉔ **内蔵アンテナ※**

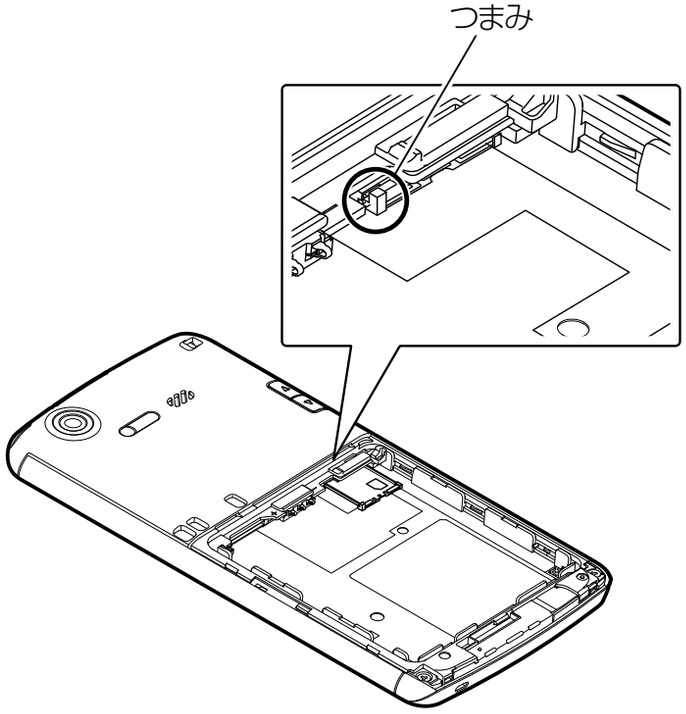
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

UIMカード

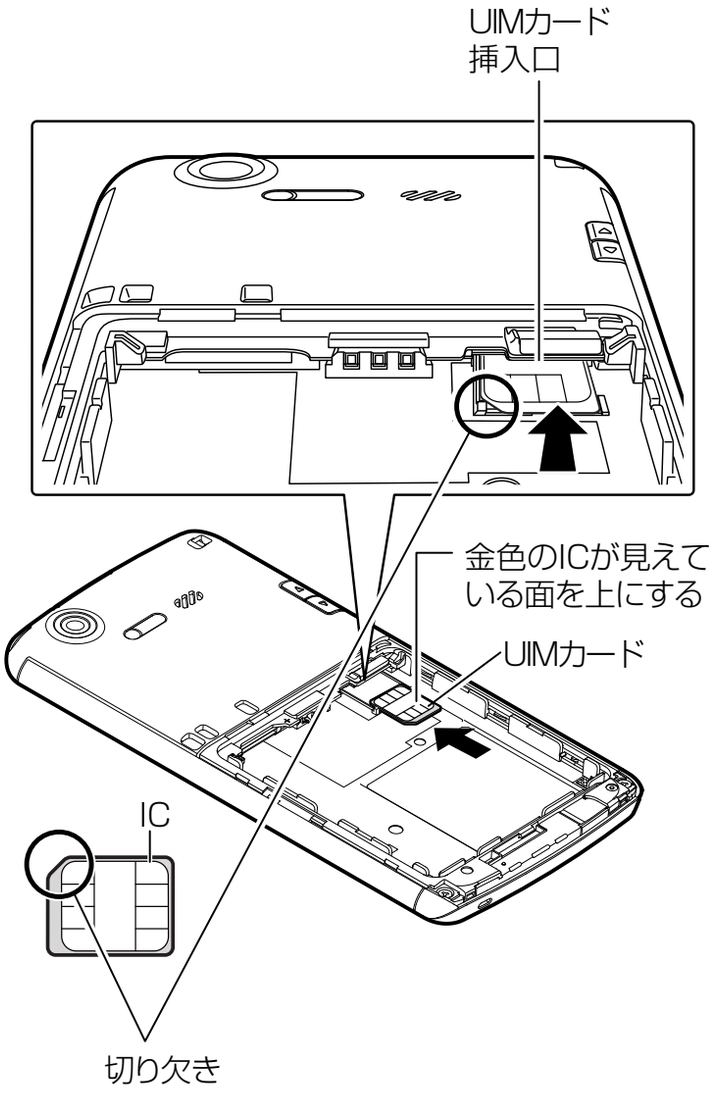
UIMカードはお客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。お客様にてご準備していただく必要があります。

- UIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください（P.32）。また、本端末は手でしっかり持ってください。

1 トレーのつまみを引いてトレーを引き出す



2 UIMカードのIC面を上にして、トレーにのせる



3 トレーを奥まで差し込む

おしらせ

- 無理に取り付け／取り外しを行うと、UIMカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込むことができます。お客様にてご準備していただく必要があります。

- NE-202では市販の2Gバイトまでの microSDカード、32Gバイトまでの microSDHCカードに対応しています（2013年3月現在）。
  microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/guide/faq/
  （「よくある質問」画面で機種名を選択し、「データ管理」を選択してください。）
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
  掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードメーカへお問い合わせください。

microSDカード利用上のご注意

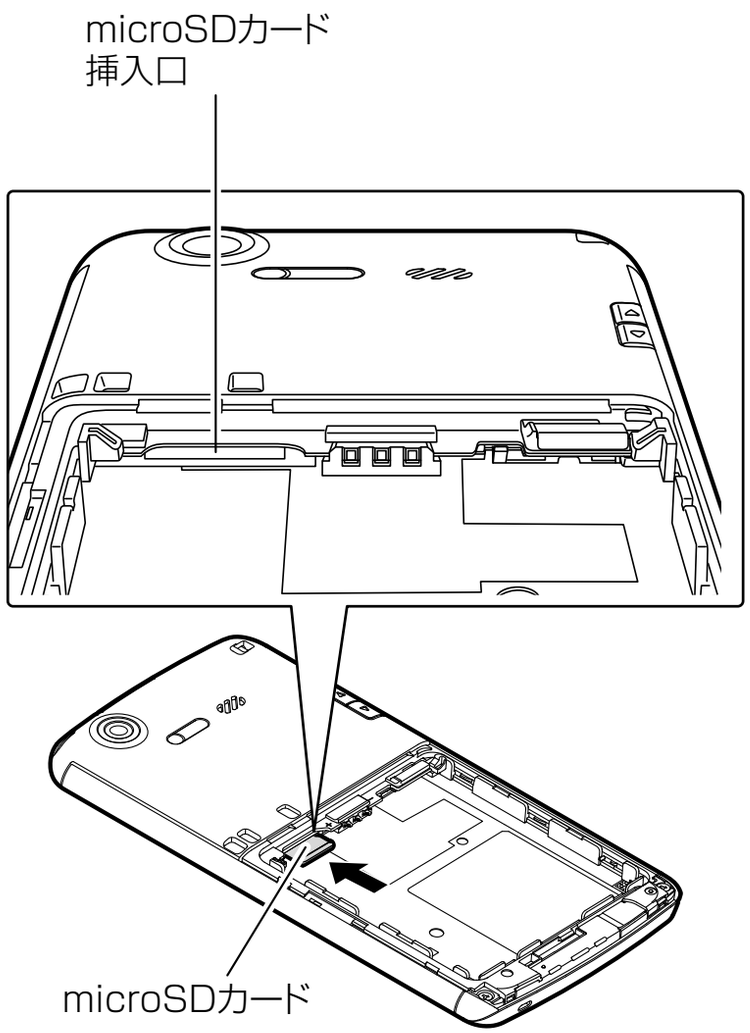
フォーマットは必ずNE-202で行ってください。他の端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。→P.91

- microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードのデータにアクセス中は電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できない場合があります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください（P.32）。また、本端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

1 microSDカード挿入口にmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

- microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。完全に奥まで押し込むとロックされます。

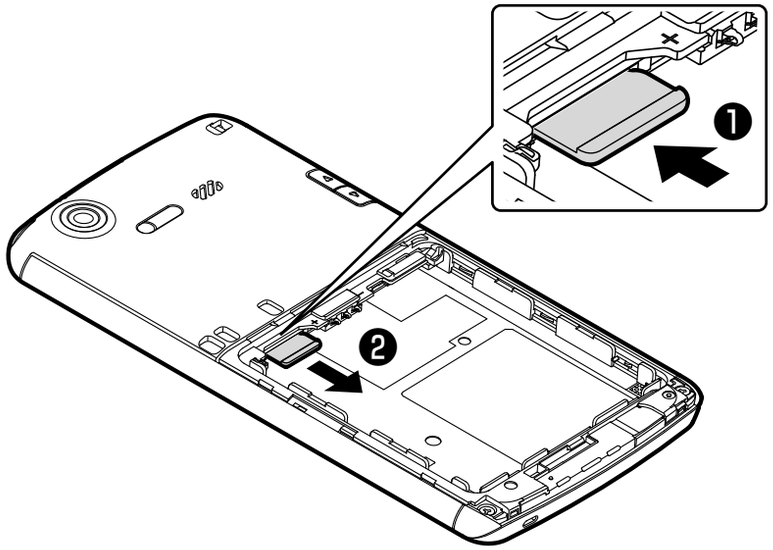


■取り外しかた

1 microSDカードを押し込んで手を放す

- microSDカードが少し出てきます。このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

2 microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜く

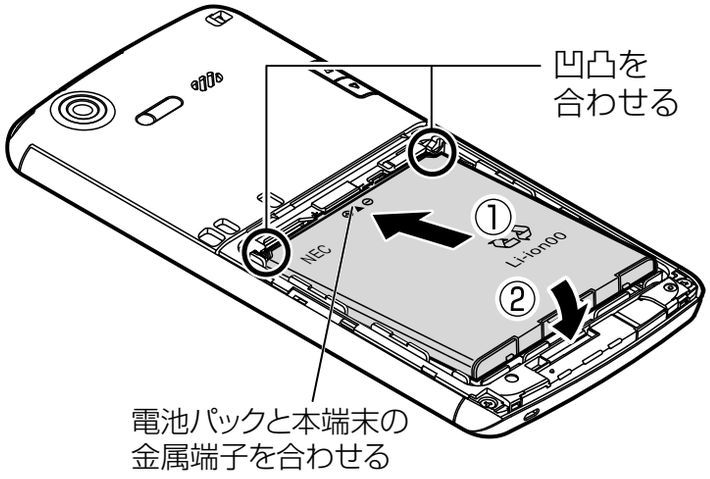


電池パック

- 本端末専用の電池パック NE-202JOBをご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、本端末は手でしっかり持ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しについて→P.22

■取り付けかた

1 製品名の書かれている面を上にして、電池パックの凹を本端末の凸に差し込み、電池パックと本端末の金属端子が合うように、①の方向に取り付け、②の方向にはめ込む

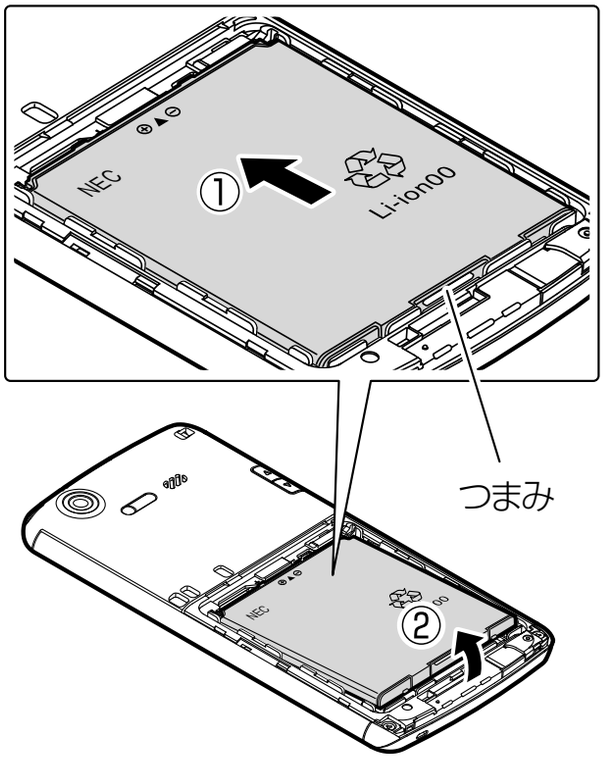


おしらせ

- 凹凸が合っていない状態で無理に押し込まないでください。凹凸や金属端子が破損する原因となります。

■取り外しかた

1 電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げる



充電

●お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電について

- ACアダプタ NE-202J0Cは、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 電池パックを本端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間本端末の電源が入らない場合があります。
- ご使用の状況によっては、電池残量が100%になる前に充電が停止する場合があります。この場合、使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタ NE-202J0Cから外し、再度取り付け直してください。

■充電時間（目安）

本端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間です。

ACアダプタ NE-202J0C	約120分※

※ 卓上ホルダ NE-202J0Jを接続して使用したときの充電時間です。

■十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。

●ワンセグ視聴やGPS機能の使用によって、本端末の使用時間は短くなります。

連続待受時間
LTE • 静止時（「自動」設定時）:約310時間 3G • 静止時（「自動」設定時）：約520時間 GSM • 静止時（「自動」設定時）：約400時間
連続通話時間
3G：約370分 GSM：約450分
テザリング連続利用時間
LTE：約260分 3G：約300分
ワンセグ視聴時間
約330分

■電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

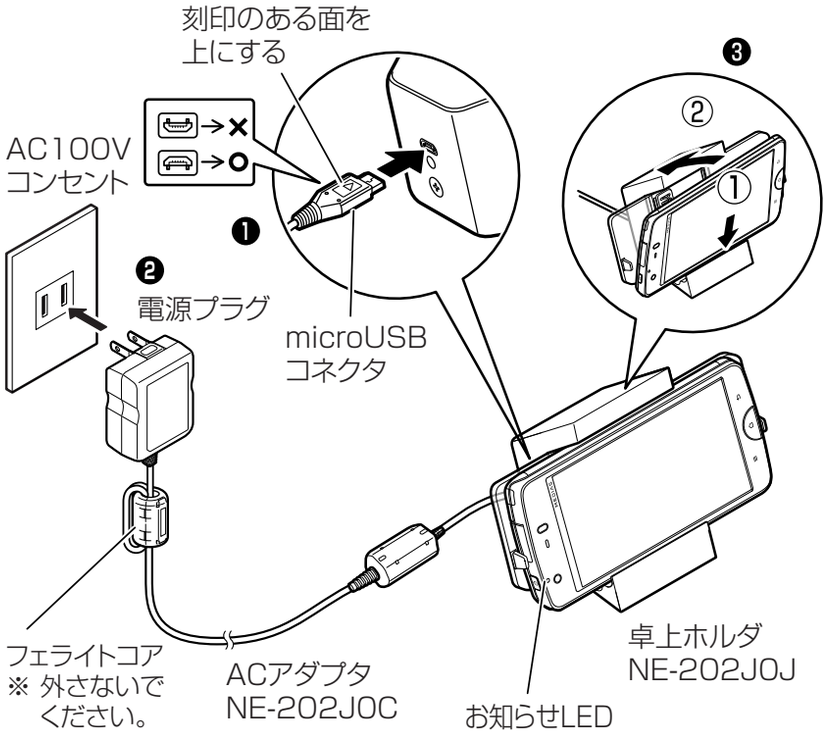
Li-ion00

■防水／防塵性能に関して

- 電池パック、ACアダプタ、付属の卓上ホルダは防水／防塵性能を有していません。本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 充電完了後は外部接続端子キャップを確実に閉じてください。水や粉塵の侵入の恐れがあります。

卓上ホルダで充電する

●付属の卓上ホルダ NE-202J0JとACアダプタ NE-202J0Cを使って充電する方法を説明します。

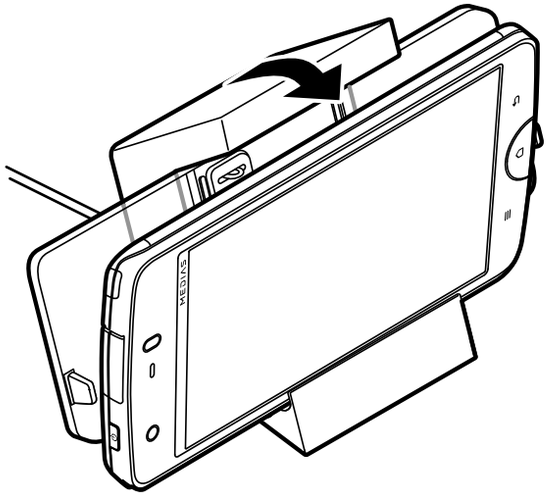


1 ACアダプタ NE-202J0Cのmicro USBコネクタを付属の卓上ホルダ背面の端子に水平に差し込む

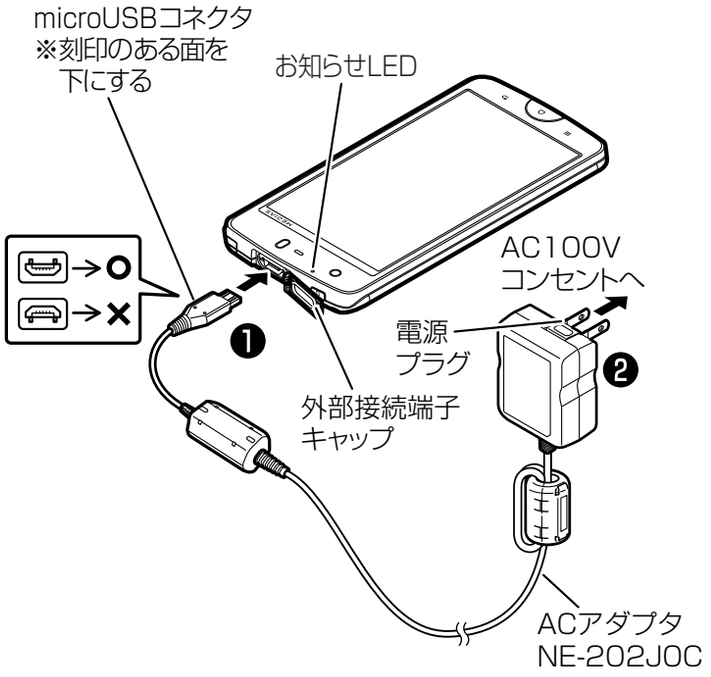
2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

3 卓上ホルダを押さえながら、図のように本端末を①の方向に差し込んで、②の方向にしっかりと取り付ける

4 充電が終了したら、卓上ホルダを押さえながら、本端末を矢印の方向へ傾け取り外す



ACアダプタで充電する



1 外部接続端子キャップを開け(P.22)、ACアダプタのmicroUSBコネクタを本端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBコネクタは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

2 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

3 充電が終了したら、ACアダプタを電源コンセントから取り外す

4 microUSBコネクタを本端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる（P.22）

おしらせ

- 電源が切れている状態から充電をはじめると、充電がはじまるまでに時間がかかる場合があります。
- 充電が終了したら、コンセントや本端末から、接続したケーブルなどを抜いてください。

＜お知らせLED＞

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、電池残量が90%以上になると緑色で点灯します。充電が完了すると消灯します。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 [⏻]（2秒以上）

- はじめて電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。→P.40
- ホーム画面が表示されます。→P.54

■電源を切る

1 [⏻]（1秒以上）▶「電源を切る」▶「OK」

■ スリープモードについて

[⏻]を押したり、本端末を一定時間操作しないと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

[⏻]や[⌂]を押して、スリープモードを解除できます。

■ 画面ロックについて

電源を入れたり、スリープモードを解除したときは、タッチパネルがロックされています。

を2回タップすると、ロックが解除されます。

- 「ロック解除セキュリティの設定」を「タッチ」に設定している場合、画面ロック中（スリープモード解除時）に通知パネルを利用できます。→P.46

基本操作

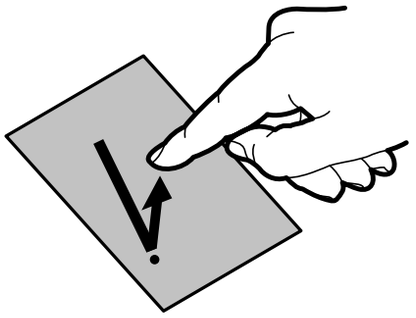
本端末はタッチパネル（ディスプレイ）を指で直接触れて操作します。

■タッチパネル利用上の注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
  次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶときは、スリープモードにした状態で持ち運んでください。スリープモードを解除した状態だと、誤動作を起こす原因となります。

■ タップする

項目の選択や実行を行います。



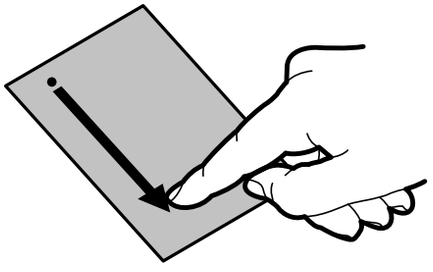
タッチパネルに軽く触れて、指を離します。

■ロングタッチ

タッチパネルに長く触れることで、メニューが表示される場合があります。

■ スライドする

表示したい方向に画面を上下左右にスクロールします。



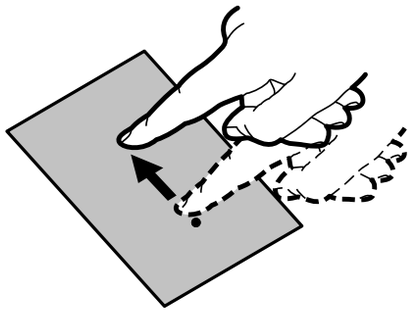
タッチパネルに触れたまま、指を動かします。

■ドラッグ

アイコンなどを指で触れたままスライドすることで、移動することができます。

■ フリックする

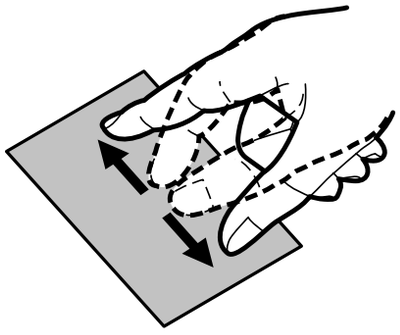
表示したい方向に画面をすばやくスクロールします。



すばやくスライドし指を離します。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

画面を拡大／縮小表示させます。



2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間隔を広げる／狭めるようにスライドします。

おしらせ

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると操作が中止されることがあります。

操作キーの操作

[≡] [⌂] [↩]キーでは主に以下の操作を行うことができます。

- [≡]：タップすると、検索や設定、削除など表示している画面で行えるメニューを表示します。
- [⌂]：押すと、機能を利用しているときなどにホーム画面を表示します。また、1秒以上押すと、アプリケーションの履歴を表示することができます。
- [↩]：タップすると、一つ前の画面に戻ります。直前の画面に戻りたいときなどに利用します。

- 電話の着信時やメール受信時などに、[≡] [↩]のキーバックライトを点灯させることができます。→P.88

画面の表示方向を切り替える

本端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。

- 表示中の画面によっては、画面表示が切り替わらない場合もあります。
- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、画面表示は切り替わりません。
- 通知パネル（P.46）から画面回転をタップして、画面表示を自動で切り替わらないように設定できます。

スクリーンショット

表示されている画面を画像として保存することができます。

1 スクリーンショットしたい画面を表示し、[⏻][▼]（1秒以上）

- [⏻]と[▼]は同時に押してください。
- スクリーンショットした画像は自動的に保存されます。
- ギャラリーから閲覧できます。
- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

本端末の電源をはじめて入れたとき、以下の設定が必要になります。

1 初期設定画面が表示されたら言語をタップ▶「次へ」

2 表示内容を確認▶「次へ」

3 Googleの位置情報サービスを利用する場合は、チェックを入れる▶「同意する」▶「次へ」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイントを設定する必要があります。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ☰▶「新しいAPN」

3 「名前」▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶「OK」

4 「APN」▶アクセスポイント名を入力▶「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

6 ☰▶「保存」

■ アクセスポイントを初期化する

- アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ☰▶「初期設定にリセット」

Wi-Fi設定

Wi-Fiは、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントを利用して、メールやインターネットを利用する機能です。

■Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

■ Wi-FiをONにしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Wi-Fi」

2「OFF」をタップしてWi-FiをONにする

- 自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なWi-Fiネットワークの名称が一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークの名称をタップ

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、接続に必要な情報を入力し、「接続」をタップしてください。

■ Wi-Fi簡単設定でWi-Fiネットワークに接続する

- アクセスポイント対応機器が「らくらく無線スタート」、「WPS」に対応している場合、アクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Wi-Fi」

2「OFF」をタップしてWi-FiをONにする

3「ワイヤレス接続簡単設定」▶「らくらく無線スタート」／「WPS（プッシュボタン）」

■ らくらく無線スタートの場合

- アクセスポイントのPOWERランプが緑色に点滅するまで「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- アクセスポイントのPOWERランプがオレンジ色に点灯するまで、もう一度「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- ステータスバーに が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

■ WPS（プッシュボタン）の場合

- アクセスポイントの検索がはじまりますので、アクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。以降は画面の指示に従って操作を行います。
- ステータスバーに が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。
- WPSを実施したアクセスポイントのセキュリティがWEP設定の場合、接続できません。

■ Wi-Fiネットワークを手動で追加する

●アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Wi-Fi」

2「OFF」をタップしてWi-Fiを ON にする

3「ネットワークを追加」

4 追加するWi-Fiネットワークのネットワーク SSIDを入力し、セキュリティ（なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP）を選択

5 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶「保存」

■ 接続中のWi-Fiネットワークを切断する

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ▶「切断」

おしらせ

●Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。

●アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、 と「制限つきで接続済み」が表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても と「制限つきで接続済み」が表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

メールのアカウントを設定する

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定すると、Eメールを利用できるようになります。

●あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーション一覧画面で「メール」

■ アカウントを追加で設定する場合

▶[≡]▶「設定」▶「アカウントを追加」

2 メールアドレスとパスワードを入力▶「次へ」▶画面に従って設定する

- プロバイダ情報がプリセットされているメールアカウントの場合は、送信／受信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないメールアカウントの場合は、手動で設定する必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

Googleなどのアカウントを設定する

Googleのアカウントを設定することで、GmailやPlay ストア（Google Play）を利用できるようになります。

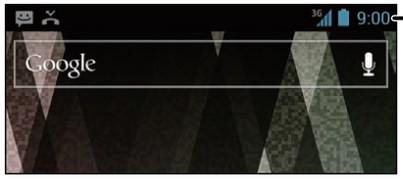
1 ホーム画面で[≡]▶「システム設定」▶「アカウントと同期」

2「アカウントを追加」▶アカウントの種類をタップ

3 画面に従ってアカウントを設定する

ステータスバーを利用する

ステータスバーには通知情報を示す通知アイコンと本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



ステータスバー

■ 主なステータスアイコン

アイコン	説明
／／	要充電／電池残量／充電中
／	電波状態（通信中は矢印が点滅します）
	圏外
LTE／3G／G／R	現在使用しているネットワークサービスエリア（LTE／3G／GSM・GPRS／国際ローミング中）を表示
	機内モード設定中
／	Wi-Fi接続中（通信中は矢印が点滅します）
	Wi-Fi接続中（制限つきで接続）
（灰色）／（青色）	Bluetooth機能ON／対応機器接続中
	UIMカード未挿入
	アラーム設定中
／	マナーモード（バイブレーション／ミュート）
ALL／漢／あ／ア／A／数	入力文字種
	顔文字・記号・定型文・文字コード
	T9入力

■ 主な通知アイコン

アイコン	説明
	伝言メモあり
	本端末の空き容量が不足し、伝言メモで録音できないとき
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMS送信失敗
talk	新着インスタントメッセージあり
1	カレンダーの予定あり
	アラームがスヌーズ中
	音楽再生中
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル着信あり
	GPS測位中
	USB接続中
	不在着信あり

アイコン	説明
	データアップロード／送信
	データダウンロード／受信
	アプリケーションインストール完了
	インストール済みアプリケーションアップデートあり
	通知アイコンを表示しきれていないとき
	赤外線通信中
	MEDIAS NAVIの更新あり
	メジャーアップデート更新あり、更新中
	タップサーチ中
	エラー／警告メッセージあり
	本端末の空き容量が不足
	USBテザリング利用中
	Wi-Fiテザリング利用中／Wi-Fi Direct利用中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中
	VPN接続中

通知パネルを利用する

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

① タップサーチを利用します。→P.61
② アイコンをタップして、各機能の設定を切り替えます。
マナー：マナーモードのON／OFF切替
マナーモードON時にバイブレーションが動作する場合はマナーを表示→P.87
画面回転：画面の自動回転のON／OFF切替→P.38
ecoモード：ecoモードの切替→P.89
GPS：GPS機能のON／OFF切替→P.115
Bluetooth：Bluetooth機能のON／OFF切替→P.80
Wi-Fi：Wi-Fi機能のON／OFF切替→P.79
明るさ：明るさの切替→P.88
自動同期：アカウント自動同期のON／OFF切替→P.92
5.1chサラウンド：サラウンド効果の切替→P.88
タッチ：フィーリングタッチのON／OFF切替→P.87
③ 不在着信やダウンロードの完了などの情報が表示されます。
④ 在圏する事業者名称が表示されます。
⑤ サービスを提供する事業者名称が表示されます。

■ 通知パネルを閉じる

▶通知パネルの下部を上にドラッグ

文字入力

本端末では、ディスプレイに表示されるキーボードで文字を入力します。テキストボックスをタップすると、キーボードが表示され、文字が入力できます。

●キーボードには以下の2種類のキーボードがあります。

■QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。

①		／：QWERTYキーボード／テンキーキーボードを切り替えます。 (^_^) #!?" 定型文 文字コード →P.50
	後変換	ひらがな／カナ／英字などに文字を変換します。
	カナ英数	テンキーキーボードのとき、カナ／英数などに文字を変換します。 半角／全角の切り替えもできます。
②	あA あA1	入力する文字種を切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。 [ATOKメニュー] •「ATOKの設定」:「文字入力に関する設定を行う」→P.51 •「単語登録」:単語を登録します。登録した単語は文字変換時に利用できます。
③		スペースを入力します。
	変換	入力文字の変換を行います。
④	記号	キーボードを記号入力に切り替えます。
⑤	／	カーソルを移動します。変換時は変換範囲を変更します。
⑥		改行の入力、入力文字を確定します。
	次へ	電話帳のデータなど次のテキスト入力欄があるときに、入力を完了し次の項目に移動します。
	実行 ／	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに、入力したテキストボックスの機能を実行します。

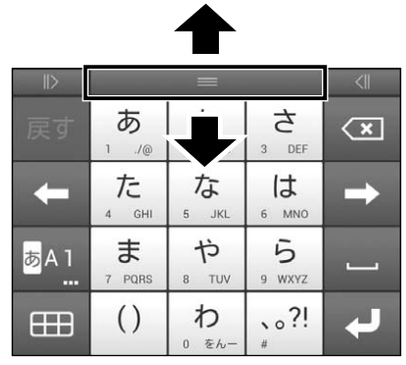
⑦		カーソル位置の左の文字を削除します。テンキーキーボードでは「文字削除キー」（P.51）で右の文字を削除（CLR）にすることもできます。
⑧		1回タップすると次に入力する文字が大文字になり（ ）、2回タップすると大文字に固定します（ ）。一部記号も入力できます。
⑨		1つ前の文字を表示（逆順）します。
		1つ前の操作を取り消します。
⑩	-	文字入力時に変換・推測候補が表示され、タップして文字を入力することができます。 • 左右にスライドすると、その他の変換・推測候補を表示します。 • 上下にフリックすると、変換・推測候補の表示枠が広がります。

■ キーボードの大きさを調整する

「キーボードのサイズ調整」（P.52）にチェックを入れると、キーボードが表示されているときにキーボードの大きさを調整できます。

■キーボードの高さを調整する

を上下にドラッグして、キーボードの高さを調整できます。



■キーボードの幅を調整する

やを左右にドラッグして、キーボードの幅を調整できます。

■ テンキーキーボードの入力方式を選択する

テンキーキーボードで文字を入力するときの入力方式を選択します。

1 文字入力画面であA／あA1をロングタッチ▶「ATOKの設定」▶「入力方式」

2「ケータイ入力」／「ジェスチャー入力」／「フリック入力」／「T9入力」／「2タッチ入力」

■ケータイ入力

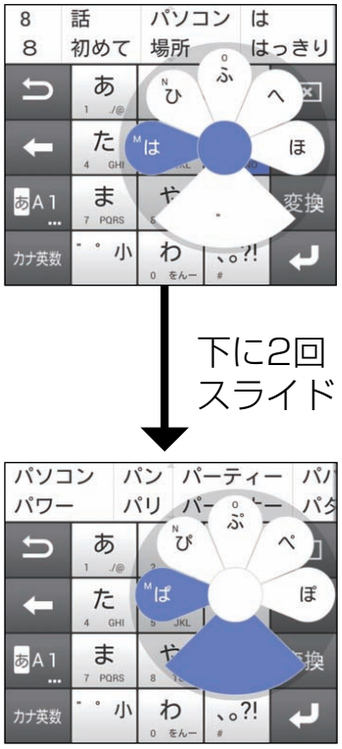
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーのまわりにジェスチャーガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の文字までスライドします。

また、タップした指を下に1回または2回スライドすることで、濁音／半濁音／小文字のジェスチャーガイドを表示できます（英字入力時は、大文字／小文字を切り替えます）。

例：「ぱ」を入力する場合



■フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの上にフリックガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の方向にフリックします。

また、フリック入力後゛゜小を1回または2回タップして、濁音／半濁音／小文字を入力できます。

■T9入力

入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、表示された予測候補の中から目的の文字を選択して入力します。

例：「春」を入力する場合

▶「は」「ら」とタップ

予測候補に「春」と表示されるのでタップします。

- 目的の文字が予測候補にないときは、読み編集をタップして、読みを入力します。
- 濁音／半濁音を入力する場合は、゛゜をタップします。
- 英語と日本語を切り替えるときは英語／日本語をタップします。
- 漢字 かなをタップして、予測候補の表示を「漢字／かな」に切り替えることができます。

「変換」タブに「はる」の候補が表示されるので、「春」をタップします。「予測」タブには「はる」からの予測候補が表示されます。

- 変換範囲を変えたい場合は、←範囲／範囲→をタップします。

■2タッチ入力

2つのキーをタップして1つの文字を入力します。1つめキーで行をタップし、2つめのキーで入力したい文字を選択します。

■ 顔文字／記号パレットで入力する

1 文字入力画面で「⌨」

2「(^_^)」／「#!?"」

- キーボードに該当のパレットが表示されます。

■ Myコレに追加する

- 各カテゴリの候補をロングタッチするとMyコレに追加することができます。入力したい文字をMyコレからすばやく選択することができます。
  顔文字と記号はMyコレユーティリティ(P.52)を使って独自の候補を登録することができます。

■ 定型文／文字コードから入力する

▶「定型文」／「文字ｺｰﾄﾞ」

■ 電話帳のデータを引用する

▶「📖」▶「電話帳／ATOKダイレクト」▶連絡先をタップ▶引用したい項目にチェックを入れる▶「OK」

文字入力に関する設定を行う

キー操作時の操作音やバイブレーション、文字のサイズなど文字入力に関する設定を行います。

1 文字入力画面で あA ／ あA1 をロングタッチ▶「ATOKの設定」

2 以下の項目から選択

入力方式…P.49

入力補助…入力補助の設定を行います。

キー操作音…操作時に操作音が鳴るように設定します。

キー操作バイブ…操作時に振動するように設定します。

トグル入力…ジェスチャー入力、フリック入力時でもケータイ入力ができるように設定します。
「自動カーソル移動を行う」にチェックを入れると、入力方式がケータイ入力のときに、一定時間入力をしないと、カーソルを右に移動するように設定します。カーソルが移動するまでの早さも設定します。
「ジェスチャー／フリック入力時にもケータイ入力を有効にする」にチェックを入れていると、ジェスチャー入力、フリック入力でも自動カーソル移動を行います。
自動カーソル移動の設定は「入力方式」の設定ごとに変更されます。

文字削除キー…文字削除時、カーソルの左の文字を削除（「バックスペース（ ⌫ ）」）するか、右の文字を削除（「クリア（ CLR ）」）するかを設定します。

数字テンキー…テンキーキーボードのとき、数字のキーボードを利用するかしないかを設定します。

ジェスチャーガイド…ジェスチャー入力時にジェスチャーガイドを表示するかどうかを設定します。チェックを入れるとガイドが表示され、ガイドが表示されるまでの早さを設定できます。

フリックガイド…フリック入力時にフリックガイドを表示するかどうかを設定します。

フリック感度…フリック入力で文字を打つときの文字選択の感度を設定します。

修飾キーフリック…フリック入力時に濁音／半濁音を、゛゜小のフリック操作で入力できるように設定します。

英字キーフリック…英字入力時のフリックガイドの右側に割り当てる文字を設定します。

切り替え時は英字…テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに、英字になるように設定します。

英字は確定入力…英字で文字を入力するときに、文字を確定した状態で入力するように設定します。

数字キー表示（縦画面）…縦画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

数字キー表示（横画面）…横画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

マルチタッチ…QWERTYキーボードで、シフトキーや文字キーを同時にタップできるように設定します。

初期選択カテゴリー…顔文字・記号を入力するときに、最初に選択されるカテゴリーを設定します。

スペースは半角で出力…日本語入力時にもスペースを半角で入力するように設定します。

自動スペース入力…英字入力時に単語を確定すると自動的にスペースを挿入するように設定します。

文字削除フリック…⌫／CLRを上や左にフリックしたときに、文字をまとめて削除する機能を有効にするかどうかを設定します。

タッチ位置補正…キーボードがタッチされたときにタッチ位置を補正します。

自動全画面化（横画面）…横画面のとき、文字入力欄を自動的に全画面表示にするかどうかを設定します。

変換・候補…文字の変換・推測候補について設定を行います。

推測変換…文字入力時に推測候補を表示するよう設定します。

未入力時の推測候補表示…入力を確定（変換）した文字に続く単語を推測して、候補を表示するように設定します。推測変換にチェックが入っている場合に選択できます。

学習データの初期化…学習データ、顔文字・記号入力パネルの履歴を初期化します。

辞書・定型文・Myコレ…辞書・定型文・Myコレの設定を行います。

辞書ユーティリティ…ユーザー登録単語データの管理をします。

定型文ユーティリティ…ユーザー定型文データの管理をします。

Myコレユーティリティ…Myコレを編集します。

ATOK拡張辞書…ATOK拡張辞書を設定します。

ATOK Sync…Windows／Mac版ATOKで登録した単語を共有します。

画面・表示…文字入力画面の表示について設定を行います。

テーマ…キーボードのデザインを設定します。

キーボードのサイズ調整…キーボードのサイズを調整するためのバーを表示するように設定します。

文字サイズ…変換・推測候補の文字サイズを設定します。

表示行数（縦画面）…縦画面表示での変換・推測候補の表示される行数を設定します。

表示行数（横画面）…横画面表示での変換・推測候補の表示される行数を設定します。

設定の初期化…「ATOKの設定」をお買い上げ時の状態に戻します。

※ 学習データや追加したユーザー辞書の単語、定型文は初期化されません。

日本語入力システム ATOK…ATOKのバージョン情報を表示します。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、⌂を押して呼び出すことができます。

画面をフリックすることで、ホーム画面を左右にページ移動することができます。

ホーム画面を管理する

ショートカットを移動する

1 ホーム画面で移動したいショートカットをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグし、指を離す

- 他のページにショートカットを移動するときは、画面の右端または左端にショートカットをドラッグすると、ホーム画面が左右にページ移動します。

ショートカットを削除する

1 削除したいショートカットをロングタッチ

2 画面上部の「削除」の表示までドラッグし、指を離す

■ Dockを設定する

ショートカットを配置したい場所にすでに別のショートカットがある場合は、あらかじめホーム画面の空いている場所に移動させておきます。

1 ホーム画面でDockに追加したいショートカットなどをロングタッチ

2 移動したいDockの位置までドラッグし、指を離す

おしらせ

- は入れ替えできません。

フォルダをホーム画面に作成する

ショートカットを重ねると、1つのフォルダとして管理できます。

1 フォルダで管理したいショートカットをロングタッチ

2 同じフォルダで管理したいショートカットまでドラッグし、指を離す

- フォルダをタップすると、フォルダが開き、そこからショートカットを選択できるようになります。

■ フォルダにショートカットを追加する

1 フォルダに追加したいショートカットをロングタッチ

2 ショートカットを追加したいフォルダまでドラッグし、指を離す

■ フォルダの名前を変更する

1 名前を変更したいフォルダをタップ

2 タイトルをタップ

- タイトルを設定していない場合はフォルダの下側をタップしてください。

3 タイトルを入力

壁紙を変更する

1 ホーム画面をロングタッチ

2「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」

3 それぞれの設定を行う

- 「ギャラリー」を選択した場合は、壁紙に設定したい画像を選んで、壁紙として使用する箇所を、トリミング枠をドラッグして指定します。「トリミング」をタップすると、壁紙として設定されます。
- 「ライブ壁紙」を選択した場合は、壁紙の種類によっては「設定...」をタップして、壁紙の設定を行うことができます。

※ プリインストールしているライブ壁紙には一部、横画面に対応していない壁紙があります。

アプリケーション一覧画面

アプリケーション一覧画面では、本端末にインストールされているアプリケーションを表示します。

1 ホーム画面で「⊞」

アプリとウィジェットの表示を切り替えます。

アプリケーション

アプリケーションを編集する

■ アプリケーションをアンインストールする

1 アプリケーション一覧画面でアンインストールしたいアプリケーションをロングタッチ▶ホーム画面上部の「アンイン...」の表示までドラッグし、指を離す▶「OK」▶「OK」

- アンインストールできないアプリケーションをロングタッチした場合、ホーム画面上部に「アンイン...」は表示されません。

■ アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション一覧画面で追加したいアプリケーションをロングタッチ▶ホーム画面の追加したい場所にドラッグし、指を離す

■ アプリケーション一覧

アプリケーション		説明
	音楽	ミュージックプレイヤーを利用して、本体メモリやmicroSDカードに保存した音楽を再生します。
	カメラ	→P.110
	カレンダー	→P.118
	ギャラリー	→P.113
	検索（Google 検索）	→P.60
	赤外線受信	電話帳などのデータを赤外線通信により受信できるアプリです。→P.101
	設定	→P.79
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	テレビ	→P.106
	電卓	→P.119
	電話	→P.62
	電話帳	→P.66
	トーク（Google トーク）	→P.75

アプリケーション		説明
	時計	→P.118
	ナビ（Google マップ ナビ™）	→P.117
	ニュースと天気	ニュースと天気予報などを表示するアプリです。
	ブラウザ	→P.76
	ホーム切替	ホームアプリを切り替えるためのアプリです。 ※ お客様が、Google Play などからホームアプリをダウンロードし、インストールしている場合に切り替え画面が表示されます。
	マップ（Google マップ™）	→P.116
	メール	→P.70
	メッセージ	→P.69
	メッセンジャー	サークル内のみんなとすばやくメッセージを交換することができます。
	ローカル（Google＋ ローカル™）	→P.117
	Chrome™	Google Chrome を利用して、ウェブページを閲覧できます。

アプリケーション		説明
	Gmail	→P.72
	Google+™	サークルに登録したユーザーとだけ情報を共有できるソーシャルアプリです。
	Latitude（Google Latitude™）	→P.117
	MEDIAS NAVI	メーカーサイト「MEDIAS NAVI」に接続します。
	Movie Studio	動画を編集することができるアプリです。
	Playストア（Google Play）	→P.104
	Play ブックス（Google Play ブックス）	お気に入りの書籍や著者の作品をどこにいても読むことができます。
	Playムービー（Google Play ムービー）	Play ストア（Google Play）から映画をレンタルすることができるアプリです。レンタルした映画や端末内の動画をみることができます。
	YouTube™	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。

■ ウィジェット一覧

ホーム画面にウィジェットを貼り付けることで、以下の機能を利用することができます。

ウィジェット	説明
一括設定	あらかじめ自由に選択しておいた設定内容にワンタッチで一括変更することができます。
一括設定（外出）	あらかじめ設定しておいた設定内容（外出設定）にワンタッチで一括変更することができます。
一括設定（自宅）	あらかじめ設定しておいた設定内容（自宅設定）にワンタッチで一括変更することができます。
一括設定（就寝）	あらかじめ設定しておいた設定内容（就寝設定）にワンタッチで一括変更することができます。
音楽（小）	簡易的なミュージックの操作パネルを表示することができます。
音楽（大）	ジャケット画像などを含めたミュージックの操作パネルを表示することができます。
カレンダー（近日中の予定）	カレンダーに登録してある近日中の予定が表示されます。
カレンダー（小）	小さいサイズのカレンダーを貼り付けます。
カレンダー（大）	大きいサイズのカレンダーを貼り付けます。
経路とナビ	目的地までの経路を表示し、ナビを起動することができます。
交通状況	目的地までの交通状況を表示します。
書籍	お気に入りの書籍や著者の作品をどこにいても読むことができます。
設定をショートカットとする	設定のショートカットを作成します。
直接発信	設定した宛先へ電話を発信します。
直接メッセージを送る	設定した宛先へ送るメッセージ作成画面を表示します。
電話帳	よく使う連絡先を登録し、すばやく電話をかけたり、メール送信などをできるようにします。
時計（2都市表示）	現在地の時間と指定した都市の時間が表示されます。
時計（アナログ）	アナログ時計を貼り付けます。
時計（デジタル）	デジタル時計を貼り付けます。
ニュースと天気	ニュース、天気予報を表示するウィジェットです。
フォトギャラリー	アルバムなどの画像を表示することができます。
ブックマーク	ブックマーク一覧を貼り付けます。
歩数計	歩数計を利用することができます。
ミュージックプレイリスト	「音楽」アプリで設定したプレイリストを再生します。
メール	受信トレイを表示し、Eメールを表示したり作成したりできます。
Flashlight	ライトを点灯させることができます。
Gmail	Gmailの情報を表示することができます。
Google+投稿	Google+への投稿をすることができます。
Google検索	→P.60

ウィジェット	説明
Playストア（Google Play）	Play ストア（Google Play）の情報を表示することができます。
YouTube	YouTubeで検索、閲覧することができます。

おしらせ

- 一部のアプリケーション／ウィジェットの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。
- メジャーアップデートを行うと、アプリケーション／ウィジェットの内容やアイコンの位置が変わることがあります。

検索機能を使う

本端末内の電話帳のデータやアプリケーションを検索したり、ウェブ検索をすることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「検索」

- [☰]▶「設定」▶「検索対象」で検索対象を指定できます。

2 検索する文字を入力▶「🔍」

- 検索結果が表示されます。
- 検索する文字を入力すると、検索候補が表示されます。検索候補を選択して検索を実行することができます。
- 検索候補からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。

■ 音声で検索する

▶「🎤」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

- 検索対象によってはご利用になれません。

■ タップサーチを利用する

画面内や画像内に検索したい文字がある場合に、文字をタップしたり、カメラで撮影したり、本体やmicroSDカードに格納されている静止画を選択したりすることで検索を行うことができます。

＜例：画面内の文字を検索する＞

1 通知パネルを開いて「タップサーチ」

2「画面内検索」

■ 文字をカメラで撮影して検索する

▶「カメラで検索」▶検索したい文字を撮影

■ 画像データの文字を検索する

▶「画像データから検索」▶検索したい画像をタップ

3 画面上の検索したい文字をタップ

- 認識された文字がマーカー表示されます。／をドラッグして検索する文字を調整できます。
- ロングタッチすると拡大表示されます。

4「　」▶「🔍」

- テキストボックスをタップして、文字を編集して検索できます。

おしらせ

- タップサーチの文字認識条件は以下のとおりです。
  - 認識可能な文字種類：漢字・ひらがな・英字・カタカナ・数字・記号（白背景に黒文字推奨）
  - 推奨文字サイズ：20～40ドット
- アプリケーションによってはタップサーチモードにすると、画面を正しく表示できないことがあります。

アプリケーション履歴

アプリケーションの履歴を一覧表示します。一覧表示から操作したいアプリケーションに切り替えたり、再起動したりすることができます。

1 ⌂（1秒以上）

2 操作したり、再起動したいアプリケーションをタップ

- アプリケーションの履歴を左右にフリックすると、履歴を削除することができます。

おしらせ

- 複数のアプリケーションを同時に実行していると、電池の消耗が早くなることがあります。また、端末が不安定になったり、アプリケーションが強制終了したり、動作速度が低下したりすることがあります。

電話をかける／受ける

●音声通話が可能なUIMカードをご利用の場合の操作になります。

電話をかける

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 「(画面左上)」▶電話番号を入力

- 電話番号の入力を間違えた場合は、[×]をタップして入力した番号を消去します。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、番号通知／番号非通知を設定できます。
  ※その発信に限り有効です。

3 「(画面下部)」

4 通話が終了したら「」

おしらせ

●[≡]▶「待機を追加」でプッシュ信号（ポーズ）が入力できます。

■緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

●本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

●本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

●かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

おしらせ

- 画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やロックNo.入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。
- 日本国内では、UIMカードを取り付けていない場合や、PIN1コードの入力画面、PIN1コードロック・PUKロック中、暗号化（P.94）した場合には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら「操作開始」▶「通話」

■ 着信音、バイブレータをOFFにする

▶[▲]／[▼]

■ 着信を拒否する

▶「操作開始」▶「拒否」

■ 伝言メモにする

▶[≡]▶「伝言メモ」

- 伝言メモを再生する→P.65

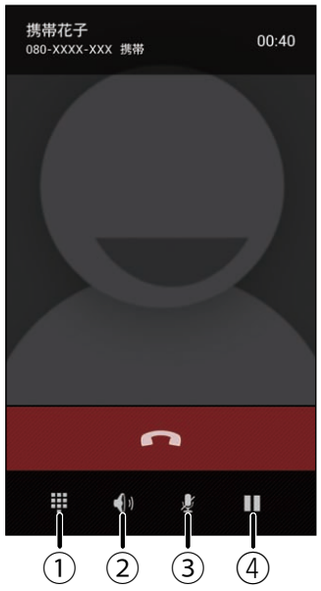
■ クイック返信する

▶[≡]▶「クイック返信」▶返信したいメッセージを選択

- 選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

2 通話が終了したら「 」

通話中の操作



① ダイヤルボタンを表示します。
② 相手の声をスピーカーから流します。タップするたびにON／OFFが切り替わります。
ヘッドセットやハンズフリーに対応したBluetooth機器と接続している場合は、相手の声をどこから流すのかを設定します。
③ 自分の声を相手に聞こえないようにします。タップするたびにON／OFFが切り替わります。
④ 通話の保留／保留解除をします。

■通話音量を調整する

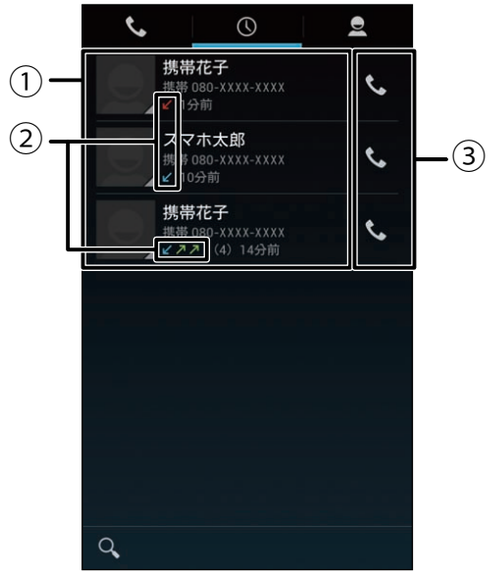
▶[▲]／[▼]

通話履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2「🕓」



① 発信や着信をした相手の名前などが表示されます。
② 履歴アイコンが表示されます。括弧内の数字は履歴件数です。
↗: 発信した履歴
↙: 着信した履歴
↙: 不在着信履歴
③ 電話を発信します。

■ 通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

▶登録したい履歴をタップ▶「連絡先に追加」▶「新しい連絡先を作成」▶必要な項目を入力▶「完了」

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。
- すでに登録されている連絡先に登録する場合は、連絡先を選択します。

■ 履歴を削除する

▶[≡]▶「通話履歴を全件消去」▶「OK」

- 個別に削除したい場合は、削除したい履歴をタップして、[≡]▶「通話履歴から消去」をタップします。

通話設定／その他

1 アプリケーション一覧画面で「電話」▶☰▶「設定」

2 以下の項目から選択

国際ダイヤルアシスト設定…P.121

クイック返信…クイック返信するテキストメッセージの編集を行います。

伝言メモ…電話に出られないときに、かけてきた相手の用件を本端末に録音します。

- **伝言メモ**…伝言メモのON／OFFを設定します。
- **伝言メモ再生**…伝言メモを再生します。項目をロングタッチすると削除できます。
- **伝言メモ設定**…着信呼出時間と、応答メッセージの種類を設定します。

着信拒否…指定した電話の着信を拒否します。

- **連絡先登録外番号**…連絡先に登録されていない相手からの着信を拒否します。
- **通知不可能**…発信者番号を通知できない相手からの着信を拒否します。
- **公衆電話**…公衆電話からの着信を拒否します。
- **非通知設定**…発信者番号を通知しない相手からの着信を拒否します。
- **指定電話番号**…「着信拒否リスト」に登録した電話番号からの着信を拒否します。
- **着信拒否リスト**…「指定電話番号」で着信を拒否する電話番号のリストを表示します。「電話番号を追加」をタップして電話番号を追加することができます。電話番号を直接入力するか、 をタップして連絡先や通話履歴から拒否したい電話番号を追加します。

電源キーで通話を終了…⏻を押して、通話を終了できるように設定します。

アカウント…インターネット通話のアカウントを設定します。

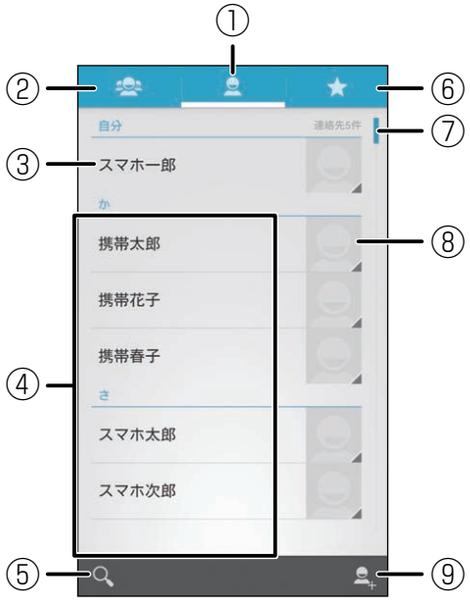
- **着信を許可**…インターネット通話の着信を受けるかどうかを設定します。

インターネット通話を使用…インターネット通話の通話方法を設定します。

電話帳

電話帳には電話番号、Eメールアドレスなどを登録できます。

1 アプリケーション一覧画面で「電話帳」



連絡先一覧画面

① 連絡先一覧画面を表示します。
② グループ一覧画面を表示します。→P.67
③ 自分の連絡先の詳細画面を表示します。
④ 連絡先の詳細画面を表示します。→P.67
⑤ 連絡先を検索できます。
⑥ お気に入りやよく使う連絡先の一覧画面を表示します。
⑦ スライドして電話帳をスクロールします。
⑧ 連絡先の詳細画面で登録した画像が表示されます。
⑨ 連絡先を新規登録します。
- 名前、電話番号、メールアドレスなど、必要な項目を入力して「完了」をタップします。
- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

■ 表示する連絡先を設定する

▶[≡]▶「表示する連絡先」▶表示する連絡先の項目をタップ

- 「カスタマイズ」で表示条件をカスタマイズできます。

■ 連絡先をインポート／エクスポートする

▶[≡]▶「インポート／エクスポート」▶以下の項目から選択

SIMカードからインポート…UIMカードから本端末に連絡先を読み込みます。

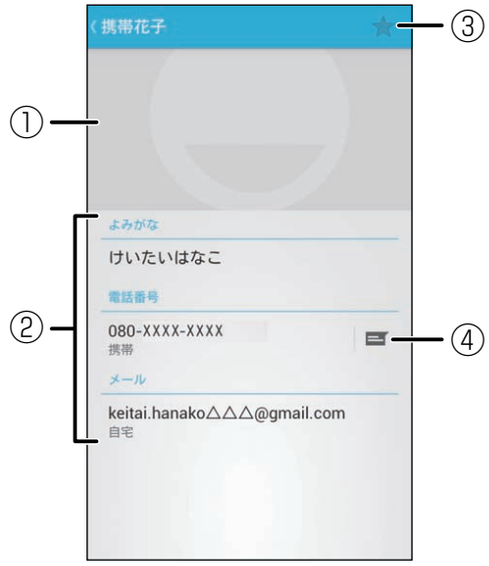
ストレージからインポート…microSDカードから本端末に連絡先を読み込みます。
Bluetooth通信やメールの添付ファイルなどで本端末内に保存した連絡先も読み込むことができます。

ストレージにエクスポート…本端末からmicroSDカードに連絡先を保存します。

表示可能な連絡先を共有…表示可能なすべての連絡先を、BluetoothやGmail、赤外線などで送信します。

連絡先の詳細画面を表示する

1 連絡先一覧画面で表示したい相手の名前をタップ



連絡先の詳細画面

① 連絡先に画像が登録されていれば、画像が表示されます。
② 連絡先の詳細内容を表示します。
- 表示項目は、登録内容によって異なります。
- 登録内容によっては、項目をタップすることで電話発信やメール、マップなどが使用できます。

③ 連絡先をお気に入りとして登録します。
④ 表示されている電話番号宛のSMSを作成します。

■ 連絡先を編集する

▶[≡]▶「編集」▶項目を編集▶「完了」

■ BluetoothやGmail、赤外線などで送信する

▶[≡]▶「共有」▶共有ツールを選択▶画面に従って操作

■ 連絡先を削除する

▶[≡]▶「削除」▶「OK」

■ 連絡先の着信音を設定する

▶[≡]▶「着信音を設定」▶着信音を選択▶「OK」

おしらせ

- 同じ連絡先（同じ名前やよみがなど）が複数登録されている場合など、複数の連絡先を1つにまとめる（統合する）ことができます。
  連絡先の詳細画面で[≡]▶「編集」▶[≡]▶「統合」▶統合する連絡先をタップ
  統合を解除したいときは以下の操作を行ってください。
  連絡先の詳細画面で[≡]▶「編集」▶[≡]▶「分割」▶「OK」

グループを設定する

■ グループを追加する

1 連絡先一覧画面で「」
- グループ一覧画面が表示されます。

2 「」
- グループの編集画面が表示されます。

3 「グループの名前」にグループの名前を入力▶「完了」

■ グループに連絡先を追加する

1 連絡先一覧画面で「」
- グループ一覧画面が表示されます。

2 連絡先を追加したいグループをタップ▶[≡]▶「編集」

3「名前を入力」をタップ▶連絡先の名前を入力

- 該当する連絡先がある場合は、「名前を入力」の下に表示されます。

4 表示された連絡先をタップ

- 連絡先がグループに追加されます。
- ×をタップするとグループから削除されます。

5 「完了」

おしらせ

- 登録先のアカウントが異なる連絡先をグループに追加することはできません。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）のテキストメッセージを送受信します。

※ 音声通話が可能なUIMをご利用の場合の操作になります。

1 アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

• メッセージ画面が表示されます。

■ SMSを作成して送信する

▶「✎」▶「To」に送信先の電話番号、「メッセージを入力」にメッセージを入力▶「➤」

■ 送受信したSMSを表示する

▶メッセージスレッドをタップ

■ SMSを返信する

▶返信したいメッセージスレッドをタップ▶メッセージを入力▶「➤」

■ SMSを転送する

▶メッセージスレッドをタップ▶転送したいメッセージをロングタッチ▶「転送」▶「To」に転送先の電話番号を入力▶「➤」

■ SMSの電話番号を電話帳に登録する

▶「👤」▶「OK」▶「新規登録」または連絡先をタップ

■ SMSをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

▶[≡]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

おしらせ

●メッセージ入力中に[≡]▶「絵文字を挿入」で、Android 搭載の端末で表示することができる絵文字を、挿入することができます。入力時には顔文字として表示されますが、Android 搭載の端末で受信すると、絵文字で表示されます。

SMSを削除する

1 アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

■ 1件削除する

▶メッセージスレッドをタップ▶削除したいメッセージをロングタッチ▶「削除」▶「削除」

■ メッセージスレッドを削除する

▶削除したいメッセージスレッドをロングタッチ▶「🗑」▶「削除」

• メッセージスレッド内のメッセージがすべて削除されます。

■ すべてのメッセージスレッドを削除する

▶[≡]▶「すべてのスレッドを削除」▶「削除」

おしらせ

●以下の操作でSMSを保護できます。
メッセージ画面でメッセージスレッドをタップ▶保護したいメッセージをロングタッチ▶「ロック」

SMSを設定する

1 メッセージ画面で ☰ ▶「設定」

2 設定する項目をタップ

古いメッセージを削除…保存件数が制限件数の上限に達したとき、古いメッセージから自動的に削除するように設定します。

テキストメッセージの制限件数…メッセージスレッドごとの制限件数を設定します。

受取確認通知…送信したメッセージの受取通知を毎回確認できるように設定します。

SIMカードのメッセージ…UIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知…新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択…新着SMSをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション…新着SMSをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

Eメール

一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントを本端末に設定し、パソコンと同じようにEメールを送受信できます。

●「メールのアカウントを設定する」→P.43

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「メール」

- 受信トレイ画面が表示されます。

■ 受信トレイを更新する

▶「🔄」

- 新着メールがある場合は受信し、受信トレイに表示されます。

2 読みたいメールをタップ

■ Eメールを返信する

▶「↩」▶メッセージを入力▶「➤」

■ Eメールを全員に返信する

▶「⋮」▶「全員に返信」▶メッセージを入力▶「➤」

■ Eメールを転送する

▶「⋮」▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶「➤」

■ Eメールを削除する

▶「🗑」

Eメールを作成して送信する

1 受信トレイ画面で「✉+」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■ CcやBccを追加する
▶[≡]▶「Cc／Bccを追加」

3 「件名」に件名を入力

4 「メールを作成します」にメッセージを入力

■ 添付ファイルを追加する
▶[≡]▶「ファイルを添付」▶添付ファイルの種類をタップ▶添付ファイルをタップ

5 「➤」

メールボックスを開く

1 受信トレイ画面で「📁」

- 受信トレイや送信トレイなどが表示されます。

■ EメールをmicroSDカードにインポート／エクスポートする
▶[≡]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

Eメールを設定する

1 受信トレイ画面で[≡]▶「設定」▶「全般」または設定するアカウントをタップ

2 設定する項目をタップ

■ 選択したアカウントの設定を行う
▶以下の項目から選択

アカウント名…アカウント名を変更します。

名前…名前を変更します。

署名…署名を登録します。

クイック返信…頻繁に使用する文章を登録します。メールの返信時に挿入できます。

優先アカウントにする…メールを送信するときのアカウントとして、現在選択しているアカウントを設定します。

受信トレイの確認頻度…定期的に新着Eメールが届いているか、サーバーに自動で確認する時間を設定します。自動確認をしないようにも設定できます。
※ 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

メール着信通知…新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択…新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション…新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

受信設定…受信サーバーについて設定します。

送信設定…送信サーバーについて設定します。

アカウントを削除…現在選択しているアカウントを削除します。

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

●Gmailを利用するには、Google アカウントを設定する必要があります。→P.43

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「Gmail」

- メッセージスレッド一覧画面が表示されます。
- Gmailでは、返信ごとにEメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着Eメールが既存のEメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のEメールや、件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

■ 他のアカウントのメッセージスレッド一覧画面に切り替える

▶「受信トレイ」▶表示したいアカウントの受信トレイをタップ

■ Gmailを更新する

▶「🔄」

- 本端末のGmailとウェブサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

■ Eメールを検索する

▶「🔍」▶検索ボックスにキーワードを入力▶「🔍」

2 メッセージスレッドをタップ

- メッセージスレッドに複数のメッセージがある場合、「既読メール： X」をタップするとメッセージの一覧が表示されます。読みたいメッセージをタップしてメッセージを確認できます。
- 「」をタップして電話帳の登録や確認ができます。

■ Eメールを返信する

▶「」▶メッセージを入力▶「」

- 全員に返信する場合は、「」をタップして「全員に返信」をタップします。

■ Eメールを転送する

▶「」▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶「」

■ Eメールを削除する

▶「」

Eメールを作成して送信する

1 メッセージスレッド一覧画面で「」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■ CcやBccを追加する

▶[≡]▶「Cc／Bccを追加」

3 「件名」に件名を入力

4 「メールを作成」にメッセージを入力

■ 添付ファイルを追加する

▶[≡]▶「ファイルを添付」▶添付ファイルをタップ

5 「」

メッセージスレッドの管理

1 メッセージスレッド一覧画面でスレッドをロングタッチ

2 以下のアイコンから選択

…メッセージスレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたメッセージスレッドは受信トレイに表示されません。

…メッセージスレッドを削除します。

…メッセージスレッドのラベルを追加、変更します。

／…メッセージスレッドを未読／既読にします。

☆／★…メッセージスレッドにスターを付けたり外したりします。

…「重要マークを付ける」／「重要マークを外す」、「ミュート」（メッセージスレッドを非表示）、「迷惑メールを報告」（迷惑メールとしてGoogleに報告）から選択できます。

■ アーカイブまたはミュートしたメッセージスレッドを再表示する

メッセージスレッド一覧画面で「🏷」▶「すべてのメール」

おしらせ

- 本端末ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。

■ メッセージスレッドをラベルごとに表示する

「🏷」で設定したメッセージスレッドのみを表示させることができます。

1 メッセージスレッド一覧画面で「🏷」

2 表示させたいラベルの種類をタップ

- スター（⭐）の付いたメッセージスレッドや送信済みのメールのみを表示させることもできます。

Gmailを設定する

1 メッセージスレッド一覧画面で ☰ ▶「設定」▶「全般設定」または設定するアカウントをタップ

2 設定する項目をタップ

■ 選択したアカウントの設定を行う

▶以下の項目から選択

優先トレイ…現在選択しているアカウントの優先トレイ（重要なメールを振り分けたトレイ）を表示するように設定します。

メール着信通知…新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

署名…署名を登録します。

Gmail同期…同期について設定します。

同期するメールの日数…同期するメールの日数を設定します。

ラベルの管理…ラベルを利用してメールを管理します。

添付ファイルのダウンロード…Wi-Fi接続時に最近のメールの添付ファイルを自動的にダウンロードするように設定します。

Google トーク

Google トークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Google アカウントを所有する相手とチャット（文字によるおしゃべり）ができます。

●Google トークを利用するには、Google アカウントを設定する必要があります。→P.43

Google トークの準備

1 アプリケーション一覧画面で「トーク」

・トーク画面が表示されます。

■ チャットメンバーを追加する

▶「 」▶「メールアドレスを入力」に追加したいメンバーのGoogle アカウントを入力▶「完了」

■ 招待を承諾する

・招待状を受け取ると「チャットへの招待」と表示されます。

▶「チャットへの招待」▶「承諾」

■ オンラインステータスとメッセージを変更する

▶自分のアカウントをタップ▶現在選択しているステータスをタップ▶設定したいオンラインステータスを選択▶「ステータスメッセージ」▶ステータスメッセージを入力

■ Google トークを設定する

▶[≡]▶「設定」▶変更したいアカウントをタップ

・招待通知、通知音／バイブレーション、ビデオチャットの通知、検索履歴の消去などの設定を行うことができます。

■ ログアウトする

▶[≡]▶「ログアウト」

おしらせ

●招待状を受信した相手が承諾すると、返信待ちの招待状リストから該当する招待状が削除されます。

チャットする

1 トーク画面でチャットメンバーの名前をタップ

・チャット画面が表示されます。

■ チャットメンバーを切り替える

▶トーク画面に戻り、切り替えたいチャットメンバーの名前をタップ

・チャット画面を左右にフリックすることで、チャットするメンバーを切り替えることができます。

■ 複数の相手とチャットする

▶[≡]▶「グループチャット」▶チャットメンバーの名前をタップ

2 メッセージを入力▶「➤」

■ チャットを終了する

▶[≡]▶「チャット終了」

ウェブブラウザ

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを利用できます。

ブラウザを起動してウェブページを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「ブラウザ」

2 アドレスバーをタップ▶URLまたはキーワードを入力

- アドレスバーにURLまたはキーワードを入力すると、候補リストが表示されます。
- アドレスバーが表示されていない場合は、ウェブページを下にスライドしてください。

■ 音声検索を行う

▶アドレスバーをタップ▶「」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

3 候補リストから表示したいウェブページをタップ

■ ウェブページ表示中の操作

■スクロール

- スクロールしたい方向にスライド→P.37

■拡大／縮小

- 拡大／縮小したい箇所を2本の指で広げる／狭める→P.38
- 拡大したい部分をダブルタップ（2回続けてタップ）、再度ダブルタップしてもとの表示に戻す

■ウェブページを前後に移動

- で前のページに戻る、▶「進む」で次のページに進む

■ ウェブページに含まれる文字を検索する

1 ウェブページ表示中に▶「ページ内を検索」

2 検索文字を入力

3「」／「」

- 前後の一致する文字を表示します。

4「」

- 検索を終了します。

■ ウェブページに含まれる文字をコピーする

1 ウェブページ表示中にコピーしたい文字をロングタッチ▶「テキストを選択してコピー」

2「」、「」でコピーしたい範囲を選択▶「」

おしらせ

- コピーした文字は、ブラウザの検索ボックスやEメールなど他のアプリケーションに貼り付けることができます。貼り付けたいテキストボックスをロングタッチして「貼り付け」をタップしてください。

ブックマークを利用する

ウェブページをブックマークに登録して、すばやくウェブページを開くことができます。

■ ブックマークに登録する

1 登録したいウェブページで☰▶「ブックマーク」

- ブックマークがサムネイル表示されます。

2「＋」

3「表示中のサイトを追加」／「手動で追加」のいずれかをタップ▶「OK」

■ フォルダを追加する

▶「フォルダを追加」▶「OK」▶フォルダ名を入力▶「OK」

4 ブックマークのラベルとアドレスを確認／変更する▶「OK」

■ ブックマークに登録したウェブページを表示する

1 ウェブページ表示中に☰▶「ブックマーク」

■ 閲覧履歴からウェブページを表示する

▶「履歴」▶「今日」／「昨日」／「過去7日間」の表示されているいずれかをタップ▶表示したいウェブページをタップ

■ よく使うウェブページを表示する

▶「履歴」▶「よく使用」▶表示したいウェブページをタップ

■ ブックマークをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

▶☰▶「インポート／エクスポート」

2 表示したいブックマークをタップ

おしらせ

- 「今日」、「昨日」、「過去7日間」、「よく使用」表示時、ウェブページ名の右側に★が表示されます。このアイコンをタップして、ブックマークへの追加（☆）／削除（★）が行えます。

新しいブラウザウィンドウを開く

最大16のウェブページを開き、切り替えて表示できます。

1 ウェブページ表示中に開きたいリンクをロングタッチ▶「新しいタブで開く」

- 新しいブラウザウィンドウが開き、設定されているホームページが表示されます。

■ ウィンドウを切り替える

▶アドレスバーを表示▶「 」をタップ▶表示したいタブをタップ

ウェブページのリンクを操作する

ウェブページに表示されているリンクから、以下の操作ができます。

■URL

- タップしてウェブページを開きます。
- ロングタッチして、URLをコピーしたり、新しいウィンドウで表示するなどできます。

■メールアドレス

- タップしてメールを作成します。
- ロングタッチして、メールアドレスをコピーします。

■電話番号

- タップして電話発信します。

ウェブページに表示されている画像を保存する

1 ウェブページ表示中に、保存したい画像をロングタッチ▶「画像を保存」

■ 保存した画像を確認する

1 ウェブページ表示中に☰▶「ダウンロード一覧」

2 リストをタップ

ブラウザを設定する

1 ウェブページ表示中に☰▶「設定」

2 設定する項目をタップ

■ ウェブページをダブルタップ（2回続けてタップ）したときの倍率を設定する

▶「ユーザー補助」▶「ダブルタップでズーム」で倍率を設定

■ 文字サイズを変更する

▶「ユーザー補助」▶「テキストの拡大縮小」で倍率を設定

■ ホームページを設定する

- 新しいブラウザを開いたときに表示されるページを設定します。

▶「全般」▶「ホームページを設定」▶設定したい項目を選択

Wi-Fi設定

Wi-Fiネットワークの機能を利用する

●あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Wi-Fi」

2 ☰▶以下の項目から選択

優先順位変更…利用するWi-Fiネットワークの優先順位を変更します。変更したいネットワークの名称をロングタッチして、優先順位を入れ替えます。

詳細設定…詳細の設定を行います。

ネットワークの通知…Wi-Fiのオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。

スリープ時にWi-Fi接続を維持…スリープモード中にWi-Fiを使用するか（接続したままにするか）を設定します。
使用するように設定すると、モバイルデータの使用量を抑えることができます。
充電時にのみ使用するか、スリープモード中には使用しない（Wi-Fi接続を切断）かを設定することもできます。使用しないように設定すると、モバイルデータの使用量が増加する可能性があります。

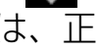
ハンドオーバー…ハンドオーバーを有効にするか無効にするかを設定します。
・有効にした場合、「ネットワークSSID」「セキュリティ」「パスワード」を同一にしたアクセスポイントに切り替えます。

MACアドレス…MACアドレスが表示されます。

IPアドレス…使用しているIPアドレスが表示されます。

おしらせ

●Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。

●アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、 と「制限つきで接続済み」が表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても  と「制限つきで接続済み」が表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

Bluetooth通信

本端末とBluetooth対応機器を、Bluetooth通信を利用して接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
  - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - 電車内
  - 航空機内
  - 病院内
  - 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器と接続する

本端末と他のBluetooth機器を接続し、データのやり取りを行うには、あらかじめ他のBluetooth機器とペアリング（接続設定）を行い、接続を行います。

- Bluetooth機器によって、ペアリングのみ行うBluetooth機器と、接続まで行うBluetooth機器があります。
- あらかじめ相手のBluetooth機能をONにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Bluetooth」

2「OFF」をタップしてBluetooth機能をONにする

- デバイスのスキャンが開始され、利用可能なBluetooth機器がリスト表示されます。
- 目的の機器が表示されないときは、「デバイスの検索」をタップしてください。

3 ペアリングしたいBluetooth機器をタップ

- Bluetooth機器によっては、本操作で接続される場合があります。

4 接続したいBluetooth機器をタップ

■ Bluetooth機器の接続を切断する

▶切断したいBluetooth機器をタップ▶「OK」

- ペアリングを解除する場合は、解除したいBluetooth機器の⚙をタップして「ペアを解除」をタップします。

■ 接続種別を選択する

▶ペア設定済みのBluetooth機器の⚙をタップ▶接続する種別にチェックを入れる

- 対応している Bluetooth機器のみ選択できます。

■ Bluetooth機器の名前を変更する

▶ペア設定済みのBluetooth機器の⚙をタップ▶「名前を変更」▶名前を入力▶「OK」

■ 他の機器に表示される本端末の名前を変更する

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Bluetooth」

2 ☰▶「端末の名前を変更」▶名前入力欄をタップして名前を入力▶「名前を変更」

■ 検出可能がタイムアウトするまでの時間を変更する

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「Bluetooth」

2 ☰▶「表示のタイムアウト」▶設定する項目をタップ

- 「タイムアウトしない」を選んだときは、自動的に検出不可になりません。

■ Bluetooth通信で受信したファイルを確認する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「Bluetooth」

2 ☰ ▶「受信済みファイルを表示」▶ファイルをタップ

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

おしらせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消費を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- SCMS-T非対応Bluetooth機器では、Audioデータの種別にかかわらず、音を聞くことができません。

■ BLE対応機器と接続したときの詳細設定を行う

BLE（Bluetooth Low Energy）対応機器と接続して、電話着信やメール受信など、本端末の情報をBLE対応機器にお知らせしたり、本端末の時計と同期することができます。そのときに、どのような情報をお知らせするかなどの設定を行います。

- あらかじめBLE対応機器と接続してください。→P.81

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「Bluetooth」▶「Bluetooth Smartデバイスを利用」

2 ☰ ▶「詳細設定」

3 以下の項目から選択

Alert Notification…電話着信やメール受信などの情報をBLE対応機器でお知らせするように設定します。

Find Me…BLE対応機器を操作して本端末を鳴らすときの音を設定します。

Proximity…本端末とBLE対応機器との接続が解除されたときに、BLE対応機器でのお知らせの強弱またはお知らせしないように設定します。

Time…BLE対応機器の時計を、本端末の時計と同期させるかどうかを設定します。

おしらせ

- BLE対応機器と連動できるアプリケーションは以下になります。
  - 電話
  - Gmail
  - メッセージ
  - 歩数計
  - 時計
  - カレンダー
  - Eメール

データ使用

データ使用は、一定期間に本端末でアップロードまたはダウンロードしたデータ量のことです。

- データ使用設定では以下のことなどができます。
  - データ使用の上限を設定する。
  - どのくらいのデータ使用量で警告を受け取るかを設定する。

モバイルデータを有効にする

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「データ使用」

2「OFF」をタップしてモバイルデータをONにする

■ モバイルデータをOFFにする
▶「ON」▶「OK」

■ Wi-Fiの使用状況を表示する
▶☰▶「Wi-Fi使用を表示する」
- タブを切り替えて表示します。

モバイルデータの利用を制限する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「データ使用」

2「モバイルデータの制限を設定する」▶メッセージの内容を確認▶「OK」
- グラフの横線（赤色）の右端をドラッグして、データ使用量の上限を設定します（データ使用量は目安です）。
- データ使用がこの上限に達すると、モバイルデータは自動的にOFFになり、端末の多くの機能が正常に動作しなくなります。

■ データ使用量が上限に近づいたときに警告する容量を設定する

1 グラフの横線（オレンジ色）の右端をドラッグする
- データ使用量は目安です。

データ使用量がリセットされる期間を設定する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「データ使用」

2「データ使用サイクル」の日付をタップ▶「サイクルを変更...」▶リセット日を選択▶「設定」

データ使用の詳細設定

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「データ使用」

2 ☰ ▶以下の項目から選択

データローミング…チェックを入れると、海外でのパケット通信が可能となり、パケット通信料が高額になる可能性があります。場所によっては、本機能を設定しないとインターネットに接続できない場合があります。

バックグラウンドデータを制限…チェックを入れると、アプリやサービスによっては、Wi-Fiネットワーク未接続時に機能しない場合があります。

Wi-Fi使用を表示する…P.83

おしらせ

- グラフの縦線（白色）をドラッグして、データ使用サイクル内の期間を変更できます。この線で表された範囲でグラフの下に表示される使用量が決まります。

その他

機内モードやVPN、テザリングなどの設定を行います。

機内モードに設定する

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信など）が無効になります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」

2「機内モード」にチェックを入れる

おしらせ

- 「機内モード」にチェックを入れるとWi-Fi、Bluetooth機能もOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部から接続する技術です。本端末からVPN接続を設定する場合、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- あらかじめ、画面ロック解除用のロックNo.またはパスワードを設定する必要があります。

■ VPNを追加する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「VPN」

2「VPNネットワークの追加」▶ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定▶「保存」

■ VPNに接続する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「VPN」

2 接続したいVPNをタップ▶必要な接続情報を入力▶「接続」

■ VPNを切断する

1 通知パネルを開いて、VPN接続中を示す通知をタップ▶「切断」

USBテザリングを利用する

microUSB接続ケーブルでUSB対応のパソコンなどを本端末と接続し、モバイルネットワークのデータ通信を利用して、パソコンなどをインターネットに接続することができます。

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

2 通知パネルを開いて、現在接続中のUSBオプションを示す通知をタップ▶「USBテザリング」

3 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「その他...」▶「テザリング」

4 「USBテザリング」▶注意事項の詳細を確認▶「OK」

■ microUSB接続ケーブルを取り外す→P.103

おしらせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（対応OS）は、以下のとおりです。
  - Windows XP
  - Windows Vista（32bit／64bit）
  - Windows 7（32bit／64bit）
- USBテザリングでデータ通信を行うには専用のドライバが必要です。ドライバのダウンロードなどについては下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/guide/download/

Wi-Fiアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」▶「ネットワークSSID」、「セキュリティ」、「パスワード」を設定▶「保存」

- お買い上げ時は、「ネットワークSSID」には「NE-202-XXXXXX」が設定されています。

Wi-Fiテザリングを利用する

Wi-Fi接続によるテザリング機能を利用することができます。本端末をアクセスポイント（親機）として利用することで、Wi-Fi対応機器（子機）でインターネットに接続したり、ゲーム対戦などのサービスを利用できます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2「Wi-Fiテザリング」▶注意事項の詳細を確認▶「OK」

3 Wi-Fi対応機器（子機）に本端末と同じネットワークSSID、同じセキュリティの設定を行う

- Wi-Fi対応機器（子機）と本端末（親機）が接続します。

おしらせ

- 同時に接続できるWi-Fi対応機器は10台までです。
- お買い上げ時の「セキュリティ」の設定では、「セキュリティ」には「WPA/WPA2 PSK」が、パスワードにはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
- 設定するチャネルは自動で1～11chのいずれかに設定されます。Wi-Fi対応機器（子機）の設定によっては接続できない場合がありますので、接続するWi-Fi対応機器（子機）の設定をご確認ください。

Wi-Fi Directを利用する

本端末は、簡単にWi-Fiを利用できるWi-Fi Directに対応しています。Wi-Fi Directを利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他の機器とWi-Fi接続ができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」

2「Wi-Fi Direct」にチェックを入れる

- 「Wi-Fi」、「Wi-Fiテザリング」がONのときは、「OK」をタップします。「Wi-Fi」、「Wi-Fiテザリング」は自動的にOFFになります。「Wi-Fi Direct」をOFFにした後は自動でONに切り替わりませんので、再度ONに切り替えてください。

■ Wi-Fi Directの設定をする

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「Wi-Fi Direct設定」

■ ピア・ツー・ピアを行う相手側端末の検索を開始する

▶「検索」

■ ピア・ツー・ピアのグループを作成する

▶「グループを作成」

■ ピア・ツー・ピアのグループを削除する

▶「グループを削除」

おしらせ

- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。
  また、アプリケーションによっては、プリンタなど他の互換機器との接続もできます。

モバイルネットワーク

データ通信に関する設定を行います。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」

2 以下の項目から選択

データ通信を有効にする…データ通信の有効／無効を切り替えます。

データローミング…P.120

アクセスポイント名…P.40

ネットワークモード…P.120

通信事業者…P.120

音

マナーモードや着信音などの設定を行います。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「音」

2 以下の項目から選択

音量…着信音やメディア再生音、アラーム音などの音量を設定します。

マナーモード…公共の場所などで、電話の音などを周囲に出さないように設定します。「ミュート」に設定すると、バイブレーションもしなくなります。

- ⏻を1秒以上押して、(バイブレーション)、(ミュート)をタップしても設定できます。

着信音…電話の着信音を設定します。

デフォルトの通知音…メールなどの通知音を設定します。

バイブレータ…バイブレータのON／OFFを設定します。

ダイヤルパッドのタッチ操作音…電話番号の入力時などに利用する、ダイヤルボタンの操作音のON／OFFを設定します。

タッチ操作音…メニュー選択時の操作音のON／OFFを設定します。

画面ロックの音…画面ロック／ロック解除時の操作音のON／OFFを設定します。

フィーリングタッチ設定…本端末の操作時や本端末から出る音に連動して振動するように設定します。

フィーリングタッチ…本端末の操作時に振動するように設定します。

テーマ設定…振動の種類を設定します。

音連動…本端末から出る音に連動して振動するように設定します。また、振動の強さの設定を行うことができます。

サラウンド…サラウンドの効果を設定します。

スピーカー補正…スピーカー補正のON／OFFを設定します。チェックを入れると、スピーカーからの音を聞きやすく調整できます。

イヤホン補正…イヤホンの形状を選択して、音を聞きやすく調整します。

おしらせ

＜フィーリングタッチ設定＞

- 一部のアプリケーションを実行中に本端末を操作していなくても振動する場合があります。

ディスプレイ

画面の明るさや文字フォント、タッチパネルの感度などの設定を行います。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「ディスプレイ」

2 以下の項目から選択

画面の明るさ…ディスプレイの明るさを調整します。「自動調整」にチェックを入れると、周囲の明るさを検知し自動で調整します。

壁紙…壁紙を変更します。

ギャラリー …P.56

ライブ壁紙…P.56

壁紙…P.56

画面の自動回転…本端末の向きに応じて、画面表示を自動で切り替えるかどうかを設定します。

スリープ…スリープモードになるまでの時間を設定します。

フォント選択…画面に表示される文字のフォントを設定します。

フォントサイズ…画面に表示される文字のサイズを設定します。

タッチパネル設定…タッチパネルの設定を行います。

高感度タッチ…タッチパネルを操作するときの感度を、高感度に設定します。

着信ランプ…着信時のお知らせLEDの点灯パターン、点灯色を設定します。

お知らせランプ…不在着信や新着メール、新着メッセージがあるときに、お知らせLEDを点滅するように設定します。

ランプ連動…着信ランプとキーバックライトを連動させるように設定します。

キーバックライト…キーバックライトの点灯色を設定します。

おしらせ

＜画面の明るさ＞

- 電池残量が少なくなると、省電力のため自動的に「画面の明るさ」が最小に設定されます。
- 「自動調整」にチェックを入れても、手動でディスプレイの明るさの基準を調節できます。

＜お知らせランプ＞

- アプリケーション（Gmailなど）によっては、本設定にかかわらず、お知らせLEDが点滅する場合があります。

ecoモード

ecoモードに設定すると、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「ecoモード」

2 以下の項目から選択

ecoモード…ecoモードを設定します。

OFF…ecoモードをOFFにします。

オート…「オート設定」で設定した電池残量や時間に応じて自動で「お好みecoモード」や「しっかりecoモード」に設定します。

お好みecoモード…「お好みecoモード設定」の内容で、ecoモードに設定します。

しっかりecoモード…電池の消費を極力抑えたecoモードに設定します。

お好みecoモード設定…お好みecoモードにしたときの動作を設定します。

画面の明るさ…ディスプレイを暗くします。

画面の自動回転…画面の自動回転をOFFに設定します。

バックライト消灯…画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

ランプ連動停止…ランプ連動をOFFに設定します。

フィーリングタッチ停止…フィーリングタッチをOFFに設定します。

BluetoothをOFFにする…Bluetooth機能をOFFに設定します。

Wi-Fiを OFFにする…Wi-Fi機能をOFFに設定します。

GPS機能をOFFにする…GPS機能をOFFに設定します。

同期を停止する…アプリケーションとの同期を停止します。

ライブ壁紙を停止する…ライブ壁紙を設定していた場合、静止画の壁紙に設定します。

オート設定…P.90

節電のすすめ…電池の消費を抑えるコツを表示します。

オート設定を利用する

ecoモードを「オート」に設定したとき、自動でお好みecoモード、しっかりecoモードをONにする電池残量と時間を設定します。生活スタイル（時間／曜日）に応じて自動でecoモードの設定を切り替えることができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「ecoモード」

2「オート設定」

3 以下の項目から選択

電池残量…電池残量を設定します。

お好みecoモード…お好みecoモードの電池残量を設定します。

しっかりecoモード…しっかりecoモードの電池残量を設定します。

時間設定…「新規設定」をタップして、開始／終了時間や繰り返し、ecoモードの種類を設定し、「有効にする」にチェックを入れて「OK」をタップします。終了時間を翌日の時間に設定することもできます。

おしらせ

＜時間設定＞

- 設定済みの項目をロングタッチすると、設定を有効／無効にするか、編集するか、削除するかを選択できます。

ストレージ

microSDカードや本端末の容量を確認したり、microSDカードのフォーマットをすることができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「ストレージ」

2 以下の項目から選択

■ 内部ストレージ

合計容量…本端末の容量を確認します。
- メモリ使用状況の内訳を確認できます。

空き容量…本端末の空き容量を確認します。

■ SDカード

合計容量…microSDカードの容量を確認します。
- メモリ使用状況の内訳を確認できます。

空き容量…microSDカードの空き容量を確認します。

SDカードのマウント解除…microSDカードを安全に取り外せるように認識を解除します。マウントが必要な場合は「SDカードをマウント」と表示され、microSDカードを本端末に認識させます。

SDカード内データを消去…microSDカードをフォーマットします。フォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。

おしらせ

- USB接続オプションを変更するには、☰ ▶「USBでパソコンに接続」をタップします。

電池

電池の使用状況を確認します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「電池」

2 確認する項目をタップ

アプリ

アプリケーションの名前やバージョン、メモリ使用状況などを確認したり、強制停止、削除などができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「アプリ」

2 タブをタップ▶アプリケーションをタップ

■ アプリケーションを無効化する

アプリケーションによっては、無効に設定してアプリケーションの動作を停止することができます。

- 無効化したアプリケーションはアプリケーション一覧画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはしません。アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「アプリ」

2 タブをタップ▶アプリケーションをタップ▶「無効にする」▶「OK」

■ アプリケーションを有効にする

▶無効化したアプリケーションをタップ▶「有効にする」

おしらせ

- アプリケーションを無効化すると、無効化したアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

アカウントと同期

Twitter、Facebook、Google、mixi、Microsoft® Exchange ActiveSync® などのオンラインサービスのアカウントを設定すると、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期、送受信ができます。自動同期させると、ウェブ上の更新情報が本端末に自動更新されます。

●アカウントの追加について→P.43

自動同期を設定する

アプリケーションが自動的にデータの同期を行うかどうかを設定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「アカウントと同期」

2「OFF」をタップして自動同期をONにする

■ 自動同期をOFFにする

▶「ON」

おしらせ

- 本設定によって、パケット通信料がかかる場合があります。また、「OFF」の状態と比較すると電池が消耗します。

手動で同期を開始する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「アカウントと同期」

2 同期したいアカウントをタップ

■ アカウントを削除する

▶削除したいアカウントをタップ▶☰▶「アカウントを削除」▶「アカウントを削除」

3 ☰ ▶「今すぐ同期」

- 同期を中止したい場合は、☰をタップして、「同期をキャンセル」をタップします。

位置情報サービス

位置情報の取得について設定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「位置情報サービス」

2 以下の項目から選択

Googleの位置情報サービス…P.115

GPS機能…P.115

位置情報とGoogle検索…検索結果やサービスの品質向上にGoogleが現在地情報を使用することを許可するように設定します。

セキュリティ

セキュリティロックなどについて設定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「セキュリティ」

2 以下の項目から選択

ロック解除セキュリティの設定…画面ロックを解除するときに使うロック解除セキュリティを設定します。

- 設定しているロック解除セキュリティによって、「顔認識の精度を改善」「パターンを表示する」「自動ロック」「電源ボタンですぐにロックする」「タッチ操作バイブ」「所有者情報」の項目の表示が異なります。

顔認識の精度を改善…顔認識の精度を改善するために、顔を撮影し直すことができます。

パターンを表示する…画面ロックを解除するときに、ディスプレイに解除パターンを表示させるかどうかを設定します。

自動ロック…スリープモードになってから画面ロックされるまでの時間を設定します。

電源ボタンですぐにロックする…⏻を押してすぐに画面ロックされるように設定します。

タッチ操作バイブ…画面ロック解除画面でロックNo.などをタップしたときのバイブレータのON／OFFを設定します。

所有者情報…画面ロック解除画面に所有者情報を表示するかどうかを設定します。「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを入れたあと、表示するテキスト（所有者情報）を入力します。

画面ロックセキュリティ…画面ロックを解除するときに、ロック解除セキュリティを入力するように設定します。

指定番号通知設定…特定の相手からの音声着信に対して、着信時の動作を変更するように設定します。

連絡先の名前を表示しない…連絡先に登録された名前や画像を表示しないように設定します。

着信ランプを点灯しない…着信ランプを点灯しないように設定します。

着信音を鳴らさない…着信音やバイブレータを鳴動しないように設定します。

履歴を残さない…着信履歴を残さないように設定します。

指定番号リスト…指定番号通知設定の対象となる電話番号のリストを表示します。「電話番号を追加」をタップして必要な項目を入力し、「OK」をタップするとリストに追加できます（名前を登録しない場合は、電話番号のみを表示します）。連絡先や通話履歴からの参照登録もできます。リストの項目をロングタッチすると、電話発信、SMS送信や編集、削除ができます。

PIN設定…P.96

パスワードを表示する…パスワード入力時に文字を表示するように設定します。

端末管理者…本端末の管理者を有効／無効に設定します。

提供元不明のアプリ…Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。

- 本端末と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

セキュリティポリシーの設定…本端末のセキュリティ管理者用に、セキュリティポリシーの設定を行います。

- あらかじめセキュリティ管理者用パスワードを設定し、デバイス管理者を有効にする必要があります。
- 有効にしたデバイス管理者は「設定」の「端末管理者」に登録されますが、無効に設定することはできません。

暗号化…本端末やmicroSDカードのデータを暗号化することができます。

- 暗号化には文字列のパスワードが必要なため、「ロックNo.」「パスワード」以外のロック解除セキュリティを設定することはできません。
- microSDカードの暗号化中や暗号化解除中に他のアプリケーションからデータの更新を行うと、正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードを暗号化したまま「データの初期化」を行うと、microSDカード内の暗号化済みデータが読めなくなります。その場合、暗号化されたデータは他端末でも操作が不可能となりますので、「データの初期化」の前に本設定を解除してください。

信頼できる認証情報…信頼できるCA証明書を表示します。

SDカードからインストール…暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。

認証ストレージの消去…すべての認証情報を削除して、認証情報ストレージパスワードをリセットします。

画面ロックを設定する

本端末を一定時間操作しないと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになり、画面ロックが設定されます。タッチパネル操作ができなくなるので、誤動作を防止することができます。

- 操作中に [⏻] を押しても、画面ロックが設定されます。

■ 画面ロックを解除する

- お買い上げ時の状態（ロック解除セキュリティが「タッチ」）での解除操作を説明します。電源を入れたときも、同様の操作が必要です。

1 スリープモード中に [⏻] または [⌂]

- スリープモードが解除されます。

2 「🔒」を2回タップ

- 画面ロックが解除されます。
- 「タッチ」以外のロック解除セキュリティが設定されているときは、画面の指示に従って画面ロックを解除してください。

おしらせ

- 5回連続して解除方法の入力を誤った場合は、30秒間、解除方法の入力ができなくなります。30秒経過してから、再度入力してください。

ロック解除セキュリティを設定する

ロック解除セキュリティを設定しておけば、画面ロック解除時にパスワード入力や顔認証など、特別な操作が必要になり、セキュリティを強化することができます。

1 ホーム画面で [☰] ▶「システム設定」▶「セキュリティ」▶「ロック解除セキュリティの設定」

2 以下の項目から選択

なし…ディスプレイの表示が消えたとき、画面をロックしないように設定します。操作3はありません。

タッチ…🔒を2回タップしてロック解除するように設定します。操作3はありません。

フェイスアンロック…顔認証でロック解除するように設定します。

パターン…パターンを指でなぞってロック解除するように設定します。

ロックNo.…ロックNo.でロック解除するように設定します。4桁以上の数字を入力します。

パスワード…パスワードでロック解除するように設定します。4文字以上の英数字を入力します。パスワードには英字が1文字以上必要です。

3 画面に従って設定する

おしらせ

- 「なし」または「タッチ」以外に設定されている場合は、「ロック解除セキュリティの設定」をタップしたあと、ロックを解除する操作が必要です。

本端末で利用する暗証番号

便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PINロック解除コードについては、UIMカードの販売元にお問い合わせください。

■ PIN1コード

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、UIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 他の端末で利用していたUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コードをご利用ください。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ UIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になるように設定します。

1 ホーム画面で[≡]▶「システム設定」▶「セキュリティ」▶「PIN設定」

2「PIN1コード入力設定」

■ PIN1コードを変更する場合

▶「PIN1コード変更」▶現在のPIN1コードを入力▶「OK」▶新しいPIN1コードを入力▶「OK」▶再度新しいPIN1コードを入力▶「OK」

- あらかじめ「PIN1コード入力設定」を有効にしておく必要があります。

3 PIN1コードを入力▶「OK」

■ PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、UIMカードがロックされます。
  その場合は、UIMカードの販売元にお問い合わせください。

■UIMカードのPINロックを解除する

- PIN1がロックされた場合、PUKコード入力画面が表示されますので、以下のように解除します。
  「PINロック解除コード」欄にPINロック解除コードを入力▶「新しいPIN1コード」欄に新しいPIN1コードを入力▶「OK」

言語と入力

本端末で使用する言語を変更したり、キーボード操作時の設定を行います。また、音声検索や、テキストから音声への変換機能を設定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「言語と入力」

2 以下の項目から選択

言語…本端末で使用する言語を変更します。

スペルチェッカー…入力時にスペルチェックをするかどうかを設定します。⚙をタップすると、スペルチェッカーの動作を設定できます。

デフォルト…利用する入力方法を設定します。

Androidキーボード…Android キーボードの設定を行います。⚙をタップすると、Android キーボードの動作を設定できます。

ATOK…P.51

Google音声入力…Google 音声入力を利用するかどうかを設定します。⚙をタップすると、音声入力の動作を設定できます。

音声検索…音声検索の設定を行います。

- **言語**…入力する音声を認識させる言語を設定します。
- **セーフサーチ**…検索結果のフィルタリングを設定します。
- **不適切な語句をブロック**…音声認識の不適切な結果を表示しないように設定します。

テキスト読み上げの出力…テキスト読み上げに関する設定を行います。

- **Pico TTS**…インストールされている音声合成エンジンについて設定します。日本語には対応していません。⚙をタップすると、音声合成エンジンの動作を設定できます。
- **音声の速度**…テキストの読み上げ速度を設定します。
- **サンプルを再生**…音声合成のサンプルを再生します。

バックアップとリセット

Android 向けアプリのバックアップ設定やデータの消去を行います。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「バックアップとリセット」

2 以下の項目から選択

データのバックアップ…アプリケーションの設定やデータをGoogle サーバーにバックアップします。

バックアップアカウント…情報がバックアップされているGoogle アカウントを表示します。

自動復元…アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。

データの初期化…本端末内のデータを削除し、お買い上げ時の状態に戻します。「SDカード内データを消去」にチェックを入れると、microSDカード内のデータも消去します。

日付と時刻

本端末の時計に関する設定を行います。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「日付と時刻」

2 以下の項目から選択

日付と時刻の自動設定…自動で日時を補正するように設定します。

タイムゾーンを自動設定…ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。

日付設定…手動で日付を設定します。

時刻設定…手動で時刻を設定します。

タイムゾーンの選択…タイムゾーンを手動で設定します。

24時間表示…時計の表示を12時間表示か24時間表示かを設定します。

日付形式…日付の表示形式を設定します。

ユーザー補助

操作時に音や振動で反応するユーザー補助アプリケーションを設定します。

- お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションが登録されていません。「ユーザー補助」を設定するには、あらかじめGoogle Playなどから対応するアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「ユーザー補助」

開発者向けオプション

本メニューは、開発者向けの設定メニューとなりますので、開発目的でご使用されないお客様は、設定を変更しないようご注意ください。設定を変更すると、正常に動作しなくなる場合があります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「開発者向けオプション」

2 設定する項目をタップ

端末情報

端末の状態を確認したり、OSのバージョンアップを行います。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「端末情報」

2 以下の項目から選択

メジャーアップデート…P.131

MEDIAS NAVI…MEDIAS NAVIからの更新通知を受けるように設定します。

端末の状態…電池残量や電話番号などを確認します。

法的情報…オープンソースライセンスやGoogle 利用規約を確認します。

モデル番号…型番を確認します。

Androidバージョン…Android バージョンを確認します。

ベースバンドバージョン…ベースバンドバージョンを確認します。

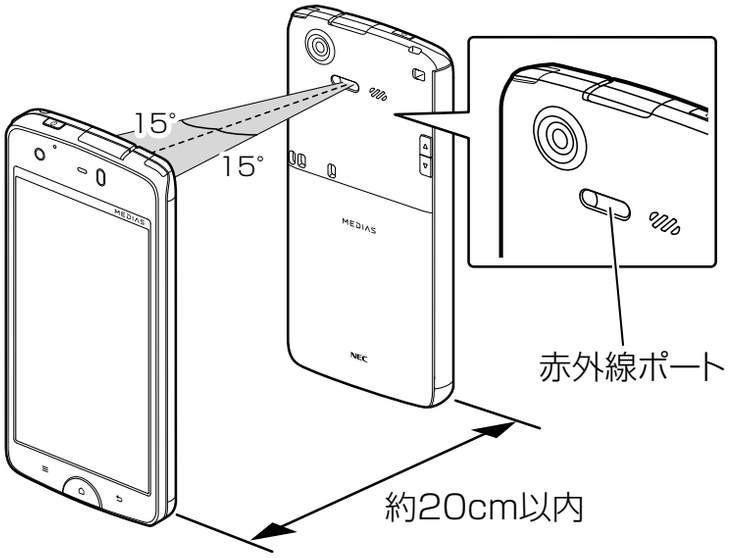
カーネルバージョン…カーネルバージョンを確認します。

ビルド番号…ビルド番号を確認します。

赤外線通信

赤外線通信機能を搭載した他の端末などと、画像や電話帳などのデータの送受信が行えます。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- 赤外線の通信距離は約 20cm 以内でご利用ください。また、通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。
- 相手側の端末によっては、送受信時に認証パスワードを入力する画面が表示される場合があります。相手側の端末で設定した認証パスワードを入力してください。
- 相手側の端末によっては、送受信ができない場合があります。



赤外線通信で送信する

＜例：電話帳を全件送信する＞

1 アプリケーション一覧画面で「電話帳」

2 ☰▶「インポート／エクスポート」▶「表示可能な連絡先を共有」▶「赤外線」

■ 連絡先を１件送信する

▶連絡先一覧画面で送信したい連絡先をタップ▶☰▶「共有」▶「赤外線」

3 「OK」

- 赤外線ポートを通信先に向けます。

4 「OK」

＜例：ギャラリーの画像を送信する＞

1 アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」

2 送信したい画像を表示▶ ▶「赤外線」

- が表示されているときは、 をタップします。
- 、 が表示されていないときは、タッチパネルに触れると表示されます。
- 受信側の端末を受信待ち状態にします。

3 「OK」

- 赤外線ポートを通信先に向けます。

4 「OK」

赤外線通信で受信する

1 アプリケーション一覧画面で「赤外線受信」

2 「OK」

- 赤外線ポートを通信先に向けます。

3 「OK」▶「OK」

Bluetooth通信

Bluetooth通信機能を利用して、他のBluetooth機器とワイヤレスでデータの送受信が行えます。

●Bluetooth機器との接続方法について→P.80

Bluetooth通信で送信する

＜例：ギャラリーの画像を送信する＞

1 アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」

2 送信したい画像を表示▶ ▶「Bluetooth」

- が表示されているときは、 をタップします。
- 、 が表示されていないときは、タッチパネルに触れると表示されます。

3 送信先のBluetooth機器をタップ

Bluetooth通信で受信する

1 送信側からファイルを送信する

- ステータスバーに が表示されます。

2 通知パネルを開いてBluetoothのファイルの着信通知をタップ▶「承諾」

- 通知パネルから受信を確認し、データを登録します。

おしらせ

- Bluetooth機能搭載機器とデータの送受信を行う場合、プロファイルが異なると送受信できない場合があります。

パソコン接続

本端末とパソコンを接続する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続します。

- microUSB接続ケーブルの抜き差しは、USBコネクタの向き（表裏）をよく確かめ、水平にして行ってください。

おしらせ

- microUSB接続ケーブルのUSBコネクタはパソコンのUSBポートに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にmicroUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

本体メモリやmicroSDカード内のデータを操作する

microUSB接続ケーブルで本端末とパソコンなどを接続して、本体メモリやmicroSDカード内のデータをパソコンから読み書きできます。

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

2 通知パネルを開いて「USB接続」▶「USBストレージをONにする」▶「OK」

■ 本体メモリのデータを操作する

▶通知パネルを開いて「カードリーダーモードとして接続」▶「メディアデバイス（MTP)」または「カメラ（PTP)」

- 「カードリーダーモード」または「メディアデバイス（MTP)」以外にチェックを入れると、microSDカード内のデータを操作できなくなります。microSDカード内のデータを操作するには、「カードリーダーモード」または「メディアデバイス（MTP）」にチェックを入れてください。

microUSB接続ケーブルを安全に取り外す

1 通知パネルを開いて「USBストレージをOFFにする」▶「USBストレージをOFFにする」

■ カードリーダーモード以外の場合

▶通知パネルを開いて、現在接続中のUSBオプションを示す通知をタップ▶「カードリーダーモード」

- パソコン側でも「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。

2 microUSB接続ケーブルを取り外す

Play ストア（Google Play）

Play ストア（Google Play）を利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、本端末にダウンロード、インストールすることができます。

●あらかじめGoogle アカウントを設定する必要があります。→P.43

1 アプリケーション一覧画面で「Play ストア」

- Play ストア画面が表示されます。
- はじめてPlay ストア（Google Play）を起動したときは、Google Playに名称が変わることを紹介する画面が表示されますので、「次へ」をタップします。続いて利用規約が表示されますので、確認したら「同意する」をタップします。

おしらせ

●アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。

●万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。この場合、保証期間内であっても有償交換となります。

●お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

●Play ストア（Google Play）についての情報が必要な場合には、Play ストア（Google Play）の画面で[≡]▶「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションをインストールする

1 Play ストア画面でアプリケーションを検索

2 インストールしたいアプリケーションをタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- お客様がアプリケーションをインストールすることにより、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。

おしらせ

●ダウンロードを停止する場合は、通知パネルを開いてアプリケーションをタップし、×をタップします。

アプリケーションを購入する

有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前にアプリケーションの購入が必要です。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。

1 Play ストア画面でアプリケーションを検索

2 購入したいアプリケーションをタップ

3 金額表示欄をタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- お客様がアプリケーションを購入することにより、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。
- 利用規約画面に表示される「払い戻しポリシー」や「Googleの請求とプライバシーポリシー」など、重要事項についてはリンクをタップし、内容を確認してください。

■返金を要求する

購入後、規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Play ストア画面で ☰ ▶「ヘルプ」▶「Androidアプリ」▶「アプリケーションの購入」の各項目をご欄ください。

おしらせ

- クレジットカードによる初回購入時には、Google Checkoutで使用するクレジットカードの情報を入力する必要があります。Google Checkoutは本端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。Google Checkoutについて詳しくは、「http://checkout.google.com/ 」を参照してください。
  また、Google Checkoutの情報は本端末に記録されます。画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.94

アプリケーションを削除する

1 Play ストア画面で ☰ ▶「マイアプリ」

2 削除したいアプリケーションをタップ

3「アンインストール」▶「OK」

- 有料のアプリケーションでは「アンインストールと払い戻し」画面が表示されます。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。
「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

■放送波について

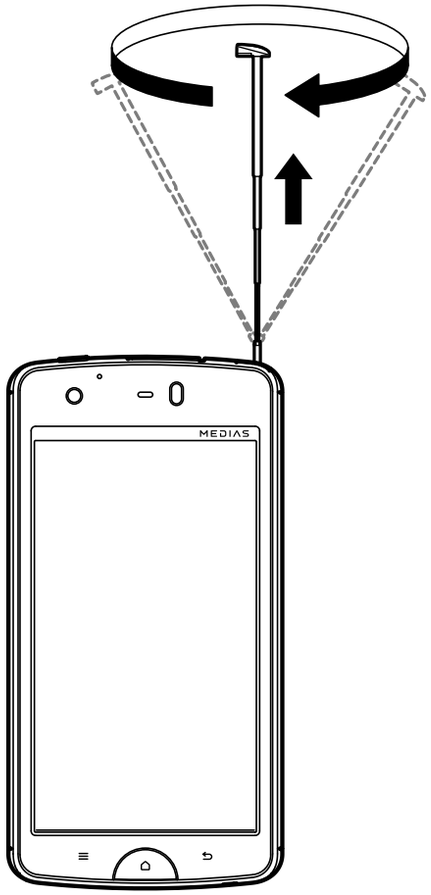
ワンセグは、放送サービスの１つであり、携帯電話サービスとは異なる電波（放送は）を受信しています。そのため、携帯電話サービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするために、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグアンテナについて

受信状態を良くするために、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。



※ワンセグアンテナを引き出す際は、まっすぐ引き出してください。

おしらせ

- ワンセグアンテナを収納するには、アンテナの下の方を持って、止まるまで押し入れます。
- ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

ワンセグを見る

1 アプリケーション一覧画面で「テレビ」

- はじめてワンセグを起動したときは、チャンネルを設定する必要があります。→P.107

■ 音量を調整する

▶[▲]／[▼]

■ チャンネル設定をする

1 ワンセグ視聴画面で[≡]▶「設定」▶「エリア切替」

2「未設定」▶「自動で設定する」

- チャンネルをスキャンし、チャンネル情報を登録します。
- 登録済みのエリアを選択すると、選択したエリアに切り替え、ワンセグを視聴します。

■ チャンネルを手動で設定する

▶「エリアを選択する」▶エリアの地方、都道府県、地域をタップ

■ ワンセグ視聴画面の見かた

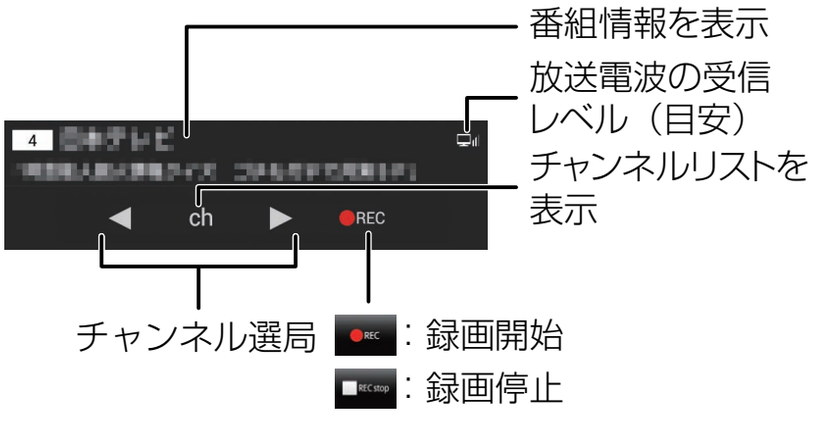
縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。

① テレビ映像エリア
- 左右にフリックしてチャンネルを選局
- ロングタッチしてチャンネルリストを表示

② データ放送エリア
③ 操作エリア

■テレビ映像エリアをタップして表示

＜例：縦画面表示＞



■データ放送エリアをタップして表示

データ放送操作エリア

録画した番組を再生する

1 ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「録画番組の再生」

2 再生したい番組をタップ

- 番組が再生されます。
- ワンセグ視聴画面同様、操作エリアから番組の操作を行います。→P.108

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示され、テレビリンクを登録しておき、あとで関連サイトに接続できます。

●テレビリンクを登録するには、データ放送エリアでテレビリンク可能な項目をタップします。

1 ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「テレビリンク」

2 リンク先をタップ▶「はい」

■ テレビリンクを削除する

▶削除したいテレビリンクをロングタッチ▶「削除」▶「1件削除」／「全件削除」▶「はい」

ワンセグを設定する

1 ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「設定」

2 以下の項目から選択

データ放送設定…データ放送の設定を行います。

- **通信確認**…通信を行う際に確認メッセージ表示の有無を設定します。
- **位置情報の利用**…位置情報利用の有無を設定します。
- **端末情報の利用**…端末情報利用の有無を設定します。
- **放送局メモリ削除**…放送局メモリを削除します。

オフタイマー…ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。

字幕／音声…字幕や音声の設定を行います。

エリア切替…「チャンネル設定をする」→P.107

カメラ

■カメラのご利用にあたって

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- 本端末を暖かい場所に長時間置いていたあとは、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色するなど、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- 手ブレ補正を「OFF」に設定している場合、撮影時に本端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音は鳴ります。また、音量を変更することや消去することはできません。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数にあわせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。
- カメラ起動中は撮影認識LEDが点滅します。

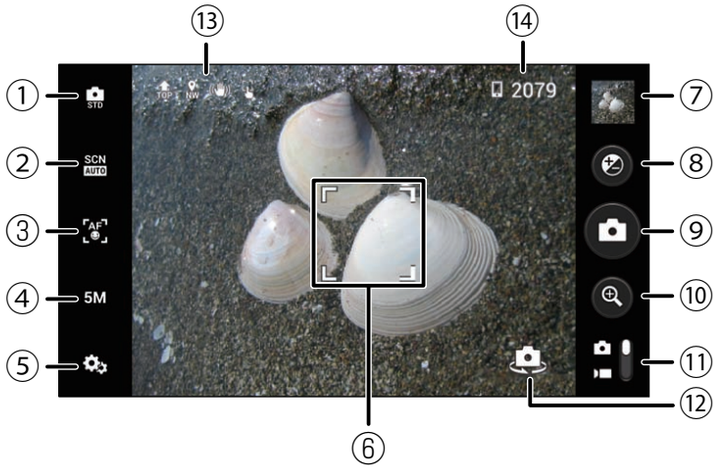
著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面の見かた

■静止画



① 撮影モード
- 標準撮影：色々なシーンに合わせて画質優先でキレイに撮影するモードです。
- クイックショット：スピード優先ですばやく撮影できるモードです。すぐ撮影するときにお薦めです。より綺麗に撮影したい場合は撮影モードを「標準撮影」にしてください。
- 高感度撮影：薄暗い場所でも撮影できるモードです。少し暗くてもライトを付けずに撮影するときお薦めです。
- ベストフォト：1回で3枚撮影し、ブレが少なく表情の良いお薦めの画像を自動的に選択するモードです。
- 連写：撮影間隔と枚数を選択して連続撮影するモードです。動く被写体を撮影するときにお薦めです。
- HDR撮影：白飛びや黒つぶれを防いで撮影するモードです。
- アプリ登録1／アプリ登録2：お好みのアプリを登録できます。ロングタッチで登録アプリの変更や解除することができます。

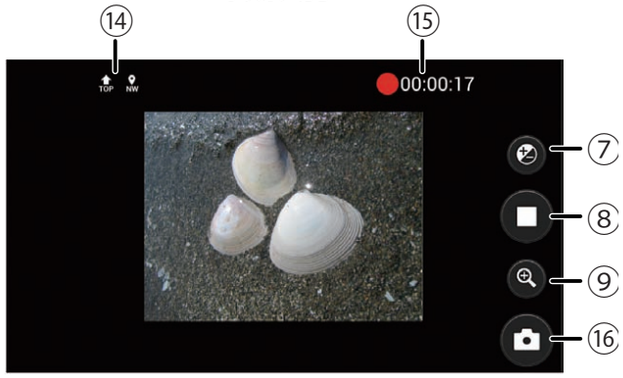
② シーン
③ オートフォーカス
④ サイズ（画像サイズ）
⑤ 共通設定：ライト、位置情報付加、エフェクト、手ブレ補正、ちらつき軽減などの設定を行うことができます。
⑥ フォーカス枠
⑦ 撮影した静止画を見ることができます。
⑧ 明るさ
⑨ シャッター
⑩ ズーム：ズームバーが表示されます。▲／▼でも調整できます。
⑪ 静止画／動画の切替
⑫ 内側カメラ／外側カメラの切替
⑬ 画面表示向き・位置情報取得状態・手ブレ補正・タッチ撮影
⑭ 保存先・撮影可能枚数

※1 メニューキーをタップすることで、①～⑤、⑦、⑪～⑭の非表示／表示を切り替えすることができます。

※2 ①～⑤では「ガイド表示」のチェックを入れておくと、イラストや文字などのガイドが表示され確認しながら操作することができます。

■動画

撮影前



撮影中

① 撮影モード
- 標準：色々なシーンに合わせて録画できます。
- アプリ登録1／アプリ登録2：ダウンロードした動画撮影アプリケーションを登録することができます。

② シーン
③ オートフォーカス
④ サイズ（画像サイズ）
⑤ 共通設定：ライト、位置情報付加、エフェクト、手ブレ補正、保存先設定などの設定を行うことができます。
⑥ 撮影した動画を見ることができます。
⑦ 明るさ
⑧ 録画の開始／終了
⑨ ズーム：ズームバーが表示されます。▲／▼でも調整できます。
⑩ 静止画／動画の切替
⑪ 内側カメラ／外側カメラの切替
⑫ 画面表示向き・位置情報取得状態・手ブレ補正
⑬ 保存先・撮影可能時間
⑭ 画面表示向き・位置情報取得状態
⑮ 撮影経過時間
⑯ 録画中の静止画撮影

※1 メニューキーをタップすることで、①～⑥、⑩～⑬の非表示／表示を切り替えすることができます。

※2 ①～⑤では「ガイド表示」のチェックを入れておくと、イラストや文字などのガイドが表示され確認しながら操作することができます。

カメラで撮影する

カメラで撮影した静止画と動画は、「共通設定」（P.111）の「保存先設定」で設定した「本体メモリ」または「SDカード」（microSDカード）に保存されます。

■ 静止画を撮影する

1 アプリケーション一覧画面で「カメラ」

2 カメラを被写体に向ける

3 「」

- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

■ 動画を撮影する

1 アプリケーション一覧画面で「カメラ」

2 「」

3 カメラを被写体に向ける

4 「」

- 録画開始音が鳴り、録画が開始されます。

5 「」

- 録画終了音が鳴り、録画が終了します。

おしらせ

- 位置情報付加の設定をONにしていても、位置情報の取得が完了する前に撮影した画像には、位置情報が設定されません。
- ズームバーにはグレー部分と青色部分が表示されます。青色部分までズームし、撮影した場合は画像劣化を伴います。
- 動画撮影中に通知音が鳴ると、通知音が録音される場合があります。

ギャラリー

カメラ撮影やサイトからのダウンロードやDLNA対応機器からアップロードなどで、本体メモリやmicroSDカードに保存した静止画／動画／持ち出し番組を表示／再生します。

- 表示可能な静止画のファイル形式は以下の通りです。JPEG（jpeg,jpg）、GIF（gif）、BMP（bmp）、PNG（png）、WebP（webp）
- 再生可能な動画のファイル形式は以下の通りです。H.263（3gp,mp4）、H.264（3gp,mp4,ts）、MPEG-4 SP（3gp）、WMV9（wmv,asf）、VP8（webm,mkv）

1 アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」

- 撮影画像やダウンロード画像や持ち出し番組など、カテゴリー分けして表示されます。

2 いずれかのカテゴリーをタップ

■ カメラを利用する

▶「」

3 表示したい静止画／動画／持ち出し番組をタップ

■ Bluetooth通信やメール送信などの操作を行う

▶カテゴリや静止画／動画をロングタッチ▶「」▶操作したいアイコンをタップ

■ 静止画／動画を削除する

▶▶「項目を選択」▶削除したい静止画／動画をタップ▶「」▶「削除」

おしらせ

- 保存されている写真の枚数が多い場合、ギャラリー起動時にすべての写真を読み込むのに時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは他の端末と「共有」することはできません。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- GPSシステムの異常などにより損害が生じた場合でも、当社では一切の責任を負いかねます。
- 本端末の故障、誤動作、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されていますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - 建物の中や直下

- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの車内
- 大雨、雪などの悪天候
- 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 携帯電話のGPSアンテナ部周辺を手で覆い隠すように持っている場合

位置情報サービスを有効にする

位置情報を利用するサービスを使用するには、あらかじめGPS機能を有効にしておく必要があります。また、Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、おおよその位置情報を検出できるように設定することもできます。

■ GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「位置情報サービス」

2「GPS機能」にチェックを入れる▶「同意する」

■ Wi-Fiやモバイルネットワークでの現在地検索を有効にする

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「位置情報サービス」

2「Googleの位置情報サービス」にチェックを入れる▶「同意する」

おしらせ

- GPSアシストデータを利用すると、測位にかかる時間を短縮することができます。
  利用する場合は、「GPS機能」と「Googleの位置情報サービス」の両方にチェックを入れ、それぞれ「同意する」をタップしてください。
- 同意すると、Googleの位置情報サービスにより個人を特定しない形で位置情報を収集します。位置情報の収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

Google マップを利用する

Google マップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などを行うことができます。

- Google マップを利用するには、LTE／3G／GPRSまたはWi-Fiで接続してデータ通信可能な状態にあることが必要です。
- あらかじめ位置情報サービスを有効に設定してください。→P.115
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 アプリケーション一覧画面で「マップ」

- 現在地機能を改善する場合は「設定」をタップします。

■ 地図を拡大／縮小する

- 拡大：2本の指の間隔を広げる、ダブルタップ（2回続けてタップ）
- 縮小：2本の指の間隔を狭める、2本の指でタップ

■ 現在地を表示する

▶「◎」

■ 場所を検索する

▶「🔍」▶検索する場所を入力▶「🔍」または検索候補をタップ

- 吹き出しをタップすると、詳細情報が確認できます。

■ ストリートビューを見る

▶ストリートビューを表示したい地点をロングタッチ▶吹き出しをタップ▶「🚶」

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

■ レイヤを表示する

- 地図上に道路の交通状況などの情報を重ねて表示したり、航空写真に切り替えたりすることができます。

▶「レイヤ」▶表示したい項目をタップ

- 交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

■ 地図をクリアする

- 表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

▶「レイヤ」▶「地図をクリア」

■ ローカル（Google＋ ローカル）、ナビ（Google マップ ナビ）、Latitude（Google Latitude）を利用する

▶「マップ」▶「ローカル」／「ナビ」／「Latitudeに参加」

■ 経路を調べる

到着地への経路を表示することができます。

1 地図表示中に「経路」

2 上のテキストボックスに出発地を入力

3 下のテキストボックスに到着地を入力

- 「」をタップして、連絡先の住所や地図上の場所などを指定することができます。

4 移動手段（「🚗」自動車／「🚃」公共交通機関／「🚶」徒歩）をタップ▶「経路を検索」

- 複数の経路が見つかった場合は、希望の経路をタップします。

ナビ（Google マップ ナビ）を利用する

目的地への音声ナビゲーションなどができます。

1 アプリケーション一覧画面で「ナビ」

- はじめてアプリケーションを起動した場合、Google マップ ナビの説明が表示されますので、「同意する」をタップしてください。

2 「🚗」もしくは「🚶」をタップし、移動手段を選択する

3 画面を左右にフリックして「スター付き」「ショートカット」「連絡先」などから目的地の選択方法を選択する

4 画面に従って目的地を指定する

- ナビゲーションが開始されます。

■ 最近の目的地から開始する

▶目的地の履歴の項目をタップ

■ ナビゲーションを終了する

▶[≡]▶「ナビゲーションの終了」

おしらせ

- 走行中は必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。

ローカル（Google＋ ローカル）を利用する

現在地の情報から、近くのお店や施設を検索し情報を表示することができます。検索したお店などはGoogle マップの画面に表示することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「ローカル」

2 検索したい施設などをタップ

- 検索結果の一覧が表示されます。

3 目的の施設などをタップ

- 詳細な情報が表示されます。

Latitude（Google Latitude）を利用する

Google Latitudeを起動すると現在地の共有画面が表示され、友人の連絡先やメールアドレスを登録します。登録後、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有することができます。また、メールやSMSを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路が検索できます。

- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

1 アプリケーション一覧画面で「Latitude」

- Latitudeの詳細については、以下の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  Latitudeの画面で[≡]▶「ヘルプ」

時計

1 アプリケーション一覧画面で「時計」

おしらせ

- スクリーンをタップすると、バックライトのON／OFFを切り替えられます。

アラームを設定する

1 時計表示中に「 」

- ☰▶「設定」で「マナーモード中のアラーム」、「アラームの音量」、「スヌーズ間隔」、「ボリュームキーの動作」などの設定ができます。

2 「＋　アラームの設定」をタップ

3 以下の項目から選択

アラームをONにする…アラームが動作するよう設定します。

時刻…アラーム時刻を設定します。

繰り返し…曜日ごとに、同じ時刻にアラームが鳴るように設定します。

アラーム音…アラーム音を設定します。

バイブレーション…アラーム音と同時にバイブレーションをするように設定します。

ラベル…設定したアラームにラベルを付けます。

- アラームが鳴ったら、「停止」をタップしてアラームを止めます。「スヌーズ」をタップすると、「スヌーズ間隔」の設定で、再度アラームが動作します。

4 「OK」

カレンダー

本端末のカレンダーと、Googleなどオンラインサービスのカレンダーを同期させて、スケジュールを管理できます。

- あらかじめGoogle アカウントを設定する必要があります。→P.43

1 アプリケーション一覧画面で「カレンダー」

■ カレンダー表示を切り替える

▶「年月◢」をタップ▶「日」／「週」／「月」／「予定リスト」

予定を作成する

1 カレンダー表示中に予定を入れる日時をロングタッチ▶「新しい予定」

2 各項目を設定▶「完了」

おしらせ

- 通知を設定した時刻になると、ステータスバーに が表示されます。通知パネルを開いて内容を確認できます。「通知を消去」をタップすると通知が消去され、「すべてスヌーズ」をタップすると5分後に再度通知します。

カレンダーを設定する

1 カレンダー表示中に☰▶「設定」

2「全般設定」▶必要に応じて設定を変更する

- 予定の通知方法や着信音／バイブレーションの選択、リマインダーの事前通知の設定が行えます。

■ Google カレンダー™ などのデータと同期する

▶表示するカレンダーのアカウントをタップ▶「アカウントと同期」▶「OFF」をタップ

電卓

1 アプリケーション一覧画面で「電卓」

- 左右にフリックして、「関数機能」と「標準機能」を切り替えることができます。
- 数式表示欄をロングタッチして、数式のコピー／貼り付けができます。
- 「削除」をタップすると、入力した数値や演算子が削除され、ロングタッチすると数式をすべて消去します。
- ▲、▼をタップすると、数式の履歴を表示することができます。

海外でご利用になる前の確認

ご出発前の確認

海外で本端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約・料金について

UIMカードの販売元に利用条件、料金についてお問い合わせください。

海外で利用するためのネットワークの設定

お買い上げ時は、自動的にネットワークモードや通信事業者を検出して切り替えるように設定されていますが、手動で切り替えることもできます。

1 ホーム画面で☰▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」

■ ネットワークモードを設定する

▶「ネットワークモード」▶利用したいネットワークモードをタップ

■ 通信事業者を設定する

▶「通信事業者」▶「自動選択」または利用したい通信事業者のネットワークをタップ

- 「ネットワークモード」の設定により、表示される通信事業者名は異なる場合があります。

■ データローミングを有効にする

▶「データローミング」にチェックを入れる▶「OK」

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 「(画面左上)」▶+（「0」をロングタッチ）を入力▶国番号を入力▶地域番号（市外局番）を入力▶電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 「(画面下部)」

■ 国際ダイヤルアシストを利用する

滞在国から他の国へ電話をかける場合、「国際ダイヤルアシスト設定」で登録した国に簡単に国際電話をかけることができます。

- あらかじめ「国際ダイヤルアシスト」の設定を行う必要があります。→P.121
- 電話番号が「0」ではじまる場合のみ有効です。

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 「(画面左上)」▶電話番号を入力▶「(画面下部)」

3 「発信（XX）」（XX：国・地域名称）

- 「+」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。

■国際ダイヤルアシストを設定する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「通話設定」▶「国際ダイヤルアシスト」

2 以下の項目から選択

自動変換機能…国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシストを利用して電話をかけるかどうかを設定します。

国番号…国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国・地域名称と国番号を登録します。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。→P.62

滞在先で電話を受ける

海外でも日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

■ 相手からの電話のかけかた

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず、国際アクセス番号＋「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号 -81-90（または 80）-XXXX-XXXX

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

●気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、販売元へお問い合わせください。

■電源

本端末の電源が入らない	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.32
●電池切れになっていませんか。	P.33

■充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.32
●アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。	P.35
●付属の卓上ホルダを使用する場合、ACアダプタが付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。	P.34
●付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。	P.34
●充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	－

■端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
●操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	―
●カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、本端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。	―
電池の使用時間が短い	
●圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	―
●電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.34
●電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.34
電源断・再起動が起きる	
●電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	―
タップしたり、キーを押しても動作しない	
●本端末の電源が切れていませんか。	P.36
●正しくタッチパネルに触れていますか。	P.37
●画面ロックされていませんか。	P.36
●スリープモードになっていませんか。[⏻]や[⌂]を押してスリープモードを解除してください。	P.36
タップしても正しく操作できない	
●手袋をしたままで操作していませんか。	P.37
●爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。	P.37
●ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。	P.37
タップしたり、キーを押したときの画面の反応が遅い	
●本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカード間で容量の大きいデータをやり取りしたときなどに起こる場合があります。	―
●近接センサーを指やシールなどでふさいでいませんか。タッチパネル設定の「高感度タッチ」を有効にしても効果が得られなくなります。	P.88
UIMカードが認識されない	
●UIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.29
時計がずれる	
●長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「日付と時刻の自動設定」のチェックを入れているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.98

本端末の動作が不安定	
●ご購入後に本端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 **■セーフモードの起動方法** 電源がOFFの状態から電源を入れ、MEDIASのロゴが表示されてから、ホーム画面が表示されるまで、[≡]を押し続けてください。 ※ お客様の使用状況によっては、[≡]を押すタイミングが変わる場合があります。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	―

文字入力中、横画面で表示したときに文字入力欄が見えなくなる	
●「キーボードのサイズ調整」、「文字サイズ」を大きめに設定していませんか。小さめに設定するなど設定を調整してください。	P.52
●「自動全画面化（横画面）」のチェックを外していませんか。チェックを入れると文字入力欄が表示されます。	P.52
アプリケーションが起動しない、データが壊れている	
●電源をOFFにしないで電池パックの取り付け／取り外しを行った可能性があります。起動できなかったアプリケーションをアンインストールして再インストールするか、「データの初期化」を行ってください。	P.98
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	
●無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。	P.92

■通話

着信音が鳴らない	
●マナーモードを設定中ではありませんか。	P.87
●伝言メモの着信呼出時間を「0秒」に設定していませんか。	P.65
●着信音量が最小に設定されていませんか。	P.87
●「指定番号通知設定」で「着信音を鳴らさない」にチェックを入れていませんか。	P.94
の表示が出て電話がかけられない	
●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.44
通話ができない（場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
●電源を入れ直すか、電池パックまたはUIMカードを入れ直してください。	−
●電波の性質により、 を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	−
●電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。	−
通話中、 などが画面に表示されない／通話中、ディスプレイに何も表示されない	
●近接センサーが保護シートなどで隠れている可能性があります。近接センサーを隠さないようにしてください。	P.28
●近接センサーを隠さないようにしても、ディスプレイに何も表示されない場合、スリープモードになっている可能性があります。[⏻]または[⌂]を押してスリープモードを解除してください。	P.36

■画面

ディスプレイが暗い	
●「スリープ」で設定した時間が経過していませんか。	P.89
●ecoモードを設定していませんか。	P.89
●「画面の明るさ」の調整を変更していませんか。	P.88
●電池残量が少なくなっていませんか。	P.89

■音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
●通話音量を変更していませんか。	P.63
●受話口が保護シートなどでふさがれていませんか。	P.28
●受話口と耳の位置がずれていませんか。	P.28
通話中、自分の声が相手に聞こえない、聞こえにくい	
●送話口が指などでふさがれていませんか。	P.28
●送話口と口の位置がずれていませんか。	P.28

■カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
●カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	―
●手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。	P.111
●オートフォーカスを「AF OFF」で撮影していませんか。	P.111
●人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出AF」に切り替えてください。	P.111

■ワンセグ

ワンセグ視聴ができない	
●地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	―
●チャンネル設定をしていますか。	P.107

■海外利用

海外で本端末が使えない（ が表示されている場合）	
●UIMカード販売元へお問い合わせください。	―
●ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 •「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM(自動)」に設定してください。 •「通信事業者」を「自動選択」に設定してください。	P.120
●本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。	―

海外でデータ通信ができない	
●「データローミング」を有効にしてください。	P.120
相手の電話番号が通知されてこない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	―
●「指定番号通知設定」を設定していませんか。	P.94

■データ管理

データ転送が行われない	
●USB HUBを使用していませんか。 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.102

■赤外線通信

電話帳のデータを受信できない	
●本体のメモリに空き容量はありますか。 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、受信を終了します。	P.91

■Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
●Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.80

エラーメッセージ

PIN1がロックされました。PINロック解除コード（PUKコード）を入力してください。	
●PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。PUKコード入力画面にてPINロック解除コードとPIN1コードを入力してください。	P.96
PUKがロックされました。	
●PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりUIMカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。販売元までお問い合わせください。	P.96

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・交換やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

  ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、販売元にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、本端末の不具合の場合

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で交換を行います。
- 保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料交換となります。
- メーカー指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料交換となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料交換いたします。

■アフターサービス用端末の保有期間は

アフターサービス用端末の最低保有期間は、製造打切り後３年間を基本としておりますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、交換可能な場合がありますので、販売元へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障交換は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障交換をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などを純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料交換となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障交換をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・交換やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 本体を交換した場合には、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更されます。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

  使用箇所：外側カメラ、外側カメラ下部、スピーカー、受話口部付近
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに販売元へご連絡ください。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を交換する際、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどは交換後の製品に移し替えることはできません。

メジャーアップデート

本端末のソフトウェアを更新する必要があるかをネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、販売元サイトもしくはメーカーサイト（MEDIAS NAVI）にてご案内させていただきます。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は、電池パックをはずさないで下さい。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード・書換え）には時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は、他の機能を利用できません。
- ソフトウェア更新の際、お客様の端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合は、書換えが失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですが販売元へお問い合わせください。
- PINコードが指定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。

1 ホーム画面で[三]▶「システム設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」

2 以下の項目から選択

更新を開始する…メジャーアップデートを起動します。

ネットワークを利用して更新…ネットワークを利用してOSのバージョンアップを行います。

SDカードを利用して更新…microSDカードを利用してOSのバージョンアップを行います。

更新の確認…本端末がアップデート可能か確認を行います。

更新を定期的に確認する…自動で定期的に更新情報をチェックし、バージョンアップ可能か確認を行います。

自動ダウンロード…Wi-Fi接続して自動でダウンロードを開始するように設定します。

■「ネットワークを利用して更新」について

- メジャーアップデートはmicroSDカードを経由して行うため、あらかじめmicroSDカードを挿入しておく必要があります。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - 国際ローミング中
  - 「SDカードでの暗号化」が有効のとき→P.94
  - 機内モード中
  - USB接続時のマウント中
  - USBテザリング利用中
  - Wi-Fiテザリング利用中
  - メジャーアップデートに必要な電池残量が不足するとき
  - メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が不足するとき

●3Gネットワークを利用してメジャーアップデートを行う場合は、パケット通信料がかかります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
●更新するソフトウェアバージョンにより、Wi-Fiネットワークへの接続が必要です。
●Wi-Fiネットワークを利用してソフトウェア更新をする際は、あらかじめWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。→P.41

■「SDカードを利用して更新」について

●本端末とパソコンを接続して（P.102）、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）から、パソコンを使ってmicroSDカードに更新するソフトウェアを取り込んで、メジャーアップデートを行います。
詳しくは、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）を参照してください。
●次の場合はメジャーアップデートできません。
- USB接続時のマウント中
- 「SDカードでの暗号化」が有効のとき→P.94
- メジャーアップデートに必要な電池残量がないとき
- メジャーアップデート完了後、microSDカードに取り込んだ更新ソフトウェアは、手動で削除してください（メジャーアップデート正常終了後は、削除して問題ありません）。

■「自動ダウンロード」について

●自動ダウンロードはWi-Fiネットワークを利用します。あらかじめWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。→P.41

主な仕様

■本体

品名		NE-202
サイズ		高さ約130mm×幅約67mm×厚さ約7.8mm （最厚部約8.5mm）
質量		約119g（電池パック装着時）
メモリ	ROM	8Gバイト
	RAM	1Gバイト
連続待受時間	LTE	静止時（「自動」設定時※1）：約310時間
	3G	静止時（「自動」設定時※1）：約520時間
	GSM	静止時（「自動」設定時※1）：約400時間
連続通話時間	3G	約370分
	GSM	約450分
テザリング連続利用時間	LTE	約260分
	3G	約300分
充電時間		ACアダプタ NE-202J0C：約120分※2
ワンセグ視聴時間		約330分
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約4.3inch
	画素数	921,600画素（横720ドット×縦1280ドット）
撮像素子	種類	内側カメラ：CMOS 外側カメラ：CMOS
	サイズ	内側カメラ：1/6.0inch 外側カメラ：1/4.0inch
	有効画素数	内側カメラ：約130万画素 外側カメラ：約810万画素

カメラ部	記録画素数（最大時）	内側カメラ：約130万画素 外側カメラ：約800万画素
	デジタルズーム	内側カメラ：静止画：最大約4.0倍／動画：最大約4.0倍 外側カメラ：静止画：最大約5.0倍／動画：最大約5.0倍
記録部	静止画記録枚数	本体保存時：最大約9,900枚※3 microSDカード（1Gバイト）保存時：最大約6,092枚※3
	静止画連続撮影	5および10枚（HDの場合） 5および25枚（VGAの場合）
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	本体保存時：1件あたり最大約350分、合計最大約426分※4 microSDカード（1Gバイト）保存時：1件あたり最大約81分、合計最大約81分※4
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	microSDカード（1Gバイト）保存時：最大約300分（合計）※5 microSDHCカード（32Gバイト）保存時：約9,600分（1件あたり最大約600分）※5
音楽再生		WMAファイル、MP3ファイルに対応
無線LAN※6		IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.4.0に準拠※7
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 2
	見通し通信距離※8	約10m以内
	対応プロファイル	HSP、HFP、HID、A2DP、AVRCP、OPP、PBAP、SPP、ANP、PASP、FMP、TIP、PXP

※1 ネットワークの接続切り替え設定は、「モバイルネットワーク」（P.87）で行います。
※2 卓上ホルダ NE-202J0Jを接続して使用したときの充電時間です。
※3 サイズ＝VGA（横640ドット×縦480ドット）、画質＝ノーマル（ファイルサイズ＝160Kバイト）の場合で、1フォルダに格納できる最大件数となります。
※4 以下の条件での1件あたりの録画時間です。
サイズ＝VGA（横640ドット×縦480ドット）、画質＝ノーマル
※5 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※6 本製品の無線LANは、Wi-Fi認証を取得しています。

※7 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※8 周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。

■電池パック

品名	電池パック NE-202J0B
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	1800mAh

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種NE-202の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.413W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。※2
キャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ
http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.55 W/kg, and when worn on the body, is 0.94 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after search on FCC ID A98-ROV0164.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending up on national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。
詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「MEDIAS®／メディアス®」およびロゴは、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「PictMagic／ピクトマジック」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「Tap search」「Quick Shot／クイックショット」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
- PhotoSolid®、MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Gmail」ロゴ、「Google トーク」、「Google トーク」ロゴ、「Google 検索」、「Google 検索」ロゴ、「Google 音声検索」、「Google 音声検索」ロゴ、「Google マップ」、「Google マップ」ロゴ、「Google＋ ローカル」、「Google＋ ローカル」ロゴ、「Google カレンダー」、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Google ＋」、「Google＋」ロゴ、「Google Latitude」、「Google Latitude」ロゴ、「Google ウォレット」、「Google Chrome」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Direct™はWi-Fi Allianceの商標です。
- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- TouchSense® Technology and TouchSense® System 3000 Series Licensed from Immersion Corporation.
  TouchSense® System 3000 Series and other Immersion software contained herein are protected under one or more of the U.S. Patents found at the following address www.immersion.com/patent-marking.html and other patents pending.

- SRS WOW HD SRS CS Headphone
  SRS WOW HDとSRS CS Headphoneは、SRS Labs, Inc.の商標です。
  WOW HDとCS Headphone技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
  SRS WOW HD™は、再生音質を著しく改善し、奥行き感のある豊かな重低音再生、高域の音の抜けの良さと共に迫力ある立体的な3Dエンタテインメント体験を実現します。
  SRS CS Headphone™は、DVD映画などマルチチャンネルコンテンツを標準ヘッドフォンまたはイヤフォンで楽しむ際に、5.1サラウンドサウンド体験を実現します。
- Audyssey Laboratoriesからのライセンスに基づき製造されています。米国及び外国特許審議中。
  Audyssey Premium MobileはAudyssey Laboratoriesの商標です。
  Audyssey Premium Mobile™は携帯電話、スマートフォン、タブレットの様々な音響問題を解決します。スピーカーやヘッドフォンの音質改善、低音の拡張、歪を押さえた迫力ある大音量再生を実現します。
  AUDYSSEY PREMIUM MOBILE
- Copyright© 2010 FUJISOFT Inc. All rights reserved
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio LicenseおよびAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visual規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）およびAVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合
  - MPEG-4 VideoおよびAVC Videoを提供することについてMPEG-LAよりライセンスを受けた者から提供されるMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合

  上記以外の使用についてのライセンスは付与されていません。プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
  （http://www.mpegla.com/ 参照）
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 著作権を含む知的財産権を保護するため、コンテンツ権利者はMicrosoft PlayReady™を採用しています。PlayReadyで保護されたコンテンツまたはWMDRM（Windows Media Digital Rights Management）で保護されたコンテンツにアクセスするため、本製品はPlayReadyを使用します。コンテンツ使用に対する適切なアクセス制限を本製品が施していない場合、PlayReadyで保護されたコンテンツを使用する機能を無効にするようコンテンツ権利者はMicrosoftに対し要求することができます。この無効化によって何も保護されていないコンテンツまたはPlayReady/WMDRM以外

の保護技術で保護されたコンテンツが影響を受けることはありません。PlayReadyをアップグレードするよう、コンテンツ権利者はお客様に要求することができます。PlayReadyのアップグレードをお客様が拒否した場合、そのアップグレードを必要とするコンテンツにお客様はアクセスできません。

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。GPLおよびLGPLの詳細は、ホーム画面で[≡]▶「システム設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。

http://www.n-keitai.com/guide/download/

なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

索引

あ

アカウント 43
　設定 92
　メールアカウント 43
明るさ（画面） 88
アクセスポイント 40
アダプタで充電 35
アフターサービスについて . . . 129
アプリケーション
　アンインストール 57
　一覧 57
　一覧画面 56
　インストール 104
　購入 105
　設定 92
アプリケーション履歴 61
アラーム 118
アラーム音量 87
アンインストール（アプリケーション） 57
暗証番号 96
安全上のご注意 6

い

位置情報サービス 115
位置情報サービス（設定） 93
インストール（アプリケーション） . . 104
インポート
　ブックマーク 77
　メール 71
　連絡先 66
　SMS 69

う

ウィジェット
　一覧 59

え

エクスポート
　ブックマーク 77
　メール 71
　連絡先 66
　SMS 69
エラーメッセージ 128

お

お知らせランプ 89
音（設定） 87
主な仕様 133
音量 87

か

海外で電話を受ける 122
海外に電話をかける 121
海外利用 120
開発者向けオプション 99
外部接続端子キャップの開閉 . . . 22
顔文字入力 50
各部の名称と機能 27
壁紙の変更 56
カメラ 110
画面
　明るさ 88
　拡大／縮小 38
　画面ロック 36
　画面ロックセキュリティ 94
　設定 88
　表示方向 38
カレンダー 118

き

記号入力 50
機内モード 84
ギャラリー 113
緊急通報 62
キーボード
　設定 97
　テンキー 47
　QWERTY 47

け

言語と入力（設定） 97
検索
　ウェブページ内 76
　Google 検索 60
ケータイ入力 49

こ

購入（アプリケーション） 105
国際ダイヤルアシスト 121
国際電話を受ける 122
国際電話をかける 121
故障かな？と思ったら 123

さ

再生
静止画 113
動画 113
ワンセグ 109

し

ジェスチャー入力 49
時刻設定 98
充電 33
アダプタ 35
卓上ホルダ 34
商標 140
初期化（端末） 98
初期設定 40

す

ステータスアイコン 44
ステータスバー 44
ストリートビュー 116
スライド 37
スリープモード 36

せ

静止画撮影 113
赤外線通信 100
セキュリティ（設定） 93

た

卓上ホルダで充電 34
タッチパネル操作 37
タップ 37
タップサーチ 61
端末情報 99

ち

知的財産権 139
着信音
電話 87
メール 71
Gmail 74
SMS 70
着信音量 87
着信拒否 63
着信拒否（設定） 65
着信ランプ 88
着信履歴 64
チャット 75
チャンネル設定 107

つ

通信事業者（海外） 120
通知アイコン 44
通知音 87
通知パネル 46
通話音量 63
通話設定 65
通話保留 63
通話履歴 64

て

ディスプレイ（設定） 88
テレビ 106
テレビリンク 109
テンキーキーボード 47
電源ON／OFF 36
伝言メモ 65
電卓 119
電池パック 32
電話帳 66
電話番号確認（自分） 99
電話を受ける 63
電話を受ける（海外） 122
電話をかける 62
電話をかける（海外） 121
データ使用（設定） 82
データの初期化 98
データローミング（海外） 120

と

動画撮影 113
同期（設定） 92
時計（アプリケーション） 118
時計設定 98
ドラッグ 37
トラブルシューティング 123
取り扱い上のご注意 16

な

ナビ（Google マップ ナビ） . . 117

に

入力方式切り替え（文字） 49

ね

ネットワークモード（海外） . . . 120

は

バイブレーション
電話着信 87
メール 71
Gmail 74
SMS 70
パソコン接続 102
バックアップとリセット（設定） . 98
発信履歴 64

ひ

比吸収率（SAR）. 136
日付設定. 98

ふ

フィーリングタッチ 87
フォント選択 88
フォーマット（microSDカード). . .91
付属品 1
ブックマーク 77
ブラウザ. 76
フリック. 38
フリック入力 49

ほ

防水／防塵性能 21
保証について 129
ホーム画面 54

ま

マナーモード 87

み

水抜き 24

め

メジャーアップデート 131
メディア再生音量. 87
メール
　メール. 70
　メールアカウント 43
　Gmail. 72
　SMS. 69

も

文字入力 47
モバイルデータ 82
モバイルネットワーク 87
モバイルネットワーク（海外）.120

ゆ

輸出管理規制. 139
ユーザー補助（設定）. 99

り

リアカバーの取り付け／取り外し . 22

ろ

ロック解除セキュリティの設定（設定）. 93
ロングタッチ. 37
ローカル（Google＋ ローカル）. .117

わ

ワンセグ 106

英字

ACアダプタで充電 35
Bluetooth
　設定 80
　通信 102
　通話 63
Dockの設定 54
ecoモード. 89
Gmail 72
Google トーク 75
Google マップ 116
GPS 114
Latitude（Google Latitude）.117
microSDカード 30
　取り付け／取り外し. 31
　パソコン操作. 102
　フォーマット. 91
　容量. 91
PIN設定. 96
PINロック解除コード. 96
PIN1コード. 96
PIN1コード入力設定 96
Play ストア 104
QWERTYキーボード 47
SAR（比吸収率）. 136
SMS 69
T9入力. 50
UIMカード 29
USBテザリング 85
VPN. 84
Wi-Fi設定 41
　その他の機能. 79
Wi-Fiテザリング 86
Wi-Fi Direct. 86

お問い合わせ先：販売元へお問い合わせください
保証責任、保証履行：NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社
http://www.n-keitai.com/guide/

Li-ion00

'13.3（1版）